

<はじめに>

- 【アプリ名称】 アクセス履歴 「Access History 02-00」
- 【 用 途 】 フォルダやファイルのアクセス履歴を取得、アクセス履歴のリスト表示、アクセス履歴リストからフォルダやファイルにアクセス
- 【 動作環境 】 Windows 10 が動作しているパソコン。
- 【アップグレードについて】 「Access_History_02-00」 リリース 2022/06/05
- アクセス履歴「Access History」は「01-01」から「02-00」にアップグレードしました。
- 旧バージョンをご使用の場合(01-00、01-01)、アンインストール後に「02-00」を新規導入して下さい。
- 「Access History 02-00」は「01-00」や「01-01」と同一ライセンスです。

はじめに

- ・【Access History】は、フォルダやファイルへのアクセスを監視してアクセス履歴を作成するユーティリティソフトです。
登録されたフォルダ配下のフォルダやファイルのアクセスを監視してアクセス履歴を取得します。
取得したアクセス履歴はファイルに出力しアクセス履歴リストに表示します。
表示したアクセス履歴のクリックでフォルダやファイルにアクセスできます。
ネットワークドライブ上のフォルダやファイルについてもアクセス履歴を取得できます。

<メニュー>



- ・インストールについて
ダウンロードされた圧縮ファイルを新たに作成されたフォルダに解凍します。
解凍されたフォルダ内の「Access_History_setup_0200.exe」を実行します。
(初期導入時やバージョンアップ時も必ず実行してください。)
インストール途中で「ライセンス情報」の入力が要求されますので、ご購入されたライセンス情報を入力して登録します。
「試用」でのご利用も可能ですが、機能が制限されます。
インストール時に過去のバージョンを検知した場合、アンインストールメニューに移行しますのでアンインストールを実行し、再度「Access_History_setup_0200.exe」を実行してインストールしてください。

<過去のバージョンとの互換性について>

- *1 「Access_History 0100」をご利用の場合、互換性がないため、「Access_History 0100」のインストールフォルダをユーザ様で削除ください。
- *2 「Access_History 0101」をご利用の場合、以下のフォルダは互換性があります。
「Access_History 0101」¥History 配下のファイルを「Access_History 0200」¥History 配下にコピーします。
「Access_History 0101」¥Save 配下のファイルを「Access_History 0200」¥Save 配下にコピーします。
「Access_History 0101」¥Proc 配下のファイルを「Access_History 0200」¥Proc 配下にコピーします。
「Access_History 0101」¥Watcher 配下のファイルを「Access_History 0200」¥Watcher 配下にコピーします。
ファイルのコピー後に「Access_History 0101」のインストールフォルダをユーザ様で削除ください。
- ・アンインストールについて
解凍されたフォルダ内の「Access_History_setup_0200.exe」を実行します。
「アンインストール」メニューが表示されますので、クリックします。
(作業用に作成したフォルダやレジストリを削除します。)
最後にインストールされたフォルダをユーザ様で削除して下さい。
- ・【誓約書】
本アプリの品質および機能がご利用の目的に適合することを保障するものではありません。
また、本契約書に明示的に記載された内容以外、一切のアプリについての瑕疵担保責任を負いません。
本アプリの選択導入はご利用者の責任で行っていただき、本アプリの実行やその結果、直接的または間接的ないかなる損害についても責任を負いません。
ご了承いただきご利用ください。

1 章 Access History	1
1 機能概要	1
2 アクセス履歴のメニュー	3
2.1 アクセス履歴左メニュー	3
2.2 アクセス履歴右メニュー	7
3 アクセス履歴	8
3.1 簡易ファイラ型アクセス履歴	8
3.2 DataGridView 型アクセス履歴	9
4 アクセス履歴監視フォルダの設定	10
4.1 アクセス履歴監視フォルダリスト	10
4.2 アクセス履歴フォルダの登録	12
5 拡張子と起動アプリ設定	13
5.1 拡張子の登録	13
5.2 アプリの登録	15
6 アクセス監視の抑止時間設定	16
6.1 アクセス監視の抑止時間帯の設定	16
7 アクセス履歴のオプション設定	17
7.1 全般	17
7.2 アクセス履歴関連	19
7.3 アクセス履歴表示	21
7.4 おまけ	22
8 性能	23
9 ライブラリについて	24
10 履歴	25
11 その他	27
11.1 注意事項について	27
11.2 制約事項について	27
11.3 連絡先について	28
2 章 簡易ファイラ型アクセス履歴	29
1 簡易ファイラ型アクセス履歴メニュー	29
1.1 簡易ファイラ型アクセス履歴の制御メニュー	30
1.2 アクセス履歴 Filer 選択メニュー	32
1.3 アクセス履歴 Filer 操作メニュー	34
1.4 アクセス履歴 Filer 保存メニュー	35
2 アクセス履歴 Filer ページ移動	36
3 アクセス履歴の検索	37
3.1 アクセス履歴フォルダ選択によるアクセス履歴検索	38
3.2 アクセス履歴ファイル選択によるアクセス履歴検索	39
3.3 アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索	40
4 アクセス履歴リスト	41
3 章 DataGridView 型アクセス履歴	42
1 アクセス履歴メニュー	43
1.1 アクセス履歴の選択メニュー	46
1.2 アクセス履歴 View リストの操作メニュー	47
1.3 アクセス履歴 View 保存メニュー	47
1.4 アクセス履歴 View ソートメニュー	48
2 アクセス履歴検索	48
2.1 アクセス履歴フォルダ選択によるアクセス履歴検索	49
2.2 アクセス履歴ファイル選択によるアクセス履歴検索	50
2.3 アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索	51
3 DataGridView の機能	53
4 章 アクセス履歴の月次集計	54
1 アクセス履歴月次集計のメニュー	55
1.1 アクセス履歴月次集計選択メニュー	57
1.2 アクセス履歴月次集計の選択メニュー	57
1.3 アクセス履歴月次集計の保存メニュー	58
2 アクセス履歴の検索	58
2.1 アクセス履歴月次集計検索フォルダの選択	59
2.2 アクセス履歴月次集計検索ファイルの選択	60
2.3 アクセス履歴月次集計の検索拡張子の選択	61
3 DataGridView の機能	62
5 章 ショートカットについて	

*連絡先等について「1 章 Access History の[11 その他]」に記載しております。

<1章 Access History>

1 機能概要

・ [Access History]の起動

本アプリの起動は、「コンテキストメニュー(デスクトップの空白部分を右クリックして表示)」から「[Access History]の起動」を選択して起動します。

【Access History】を起動しますと、メニューがディスプレイの上部、左よりに表示されます。

メニューが表示された時点からアクセス履歴の監視がスタートします。

ただし、アクセス監視の抑止時間帯はアクセス履歴の監視は実行されません。

アクセス監視の抑止時間の経過後、アクセス監視がスタートします。

<メニュー>



メニューは一定時間表示しますと隠れます。

日付の更新や監視抑止時間帯を監視するタイマー(1分間隔)の動作時に表示されているメニューを隠します。

メニューの表示はディスプレイの画面上部にマウスを移動するか、ファンクションキー“F1”をクリックしてもメニューが再表示されます。

また、タスクトレイ(通知領域)の「アイコン」クリックでメニューを表示します。

<タスクトレイ(通知領域)のアイコン>



<アクセス履歴>

・ アクセス監視フォルダの登録

アクセスを監視する「フォルダ」や「ファイル」の「親フォルダ」を監視フォルダとして登録します。

「親フォルダ」配下の「フォルダ」や「ファイル」に対して、追加や更新、削除、リネームが発生しますと

アクセス履歴を作成します。

監視フォルダはメニュー「<アクセス履歴>」の右クリックで表示します【アクセス監視 右メニュー】から

「[履歴] 監視フォルダの追加・削除」を選択して監視フォルダを登録します。

・ アクセス履歴の抽出

発生したアクセス履歴はスタック領域に蓄え、スタック領域が満杯になるか一定時間経過しますとスタック領域から抽出して、アクセス履歴抽出ファイルへ出力します。

スタック領域はアクセス履歴が発生した順に並べ、先頭が最も古く、末尾が最も新しアクセス履歴となりますので、「FIFO」(First-In Last-Out/先入れ後出し)のための領域です。

<アクセス履歴抽出ファイル>

[ホームフォルダ]¥History¥History_Master_yyyymmdd_hhmmss_xx_fff.history

yyymmdd : アクセス履歴の実行日付
hhmmss : アクセス履歴抽出ファイルの作成時刻
xx : アクセス履歴の起動回数
fff : アクセス履歴ファイル番号

・ マスタ履歴ファイルの作成

抽出したアクセス履歴抽出ファイルが一定件数作成されますと、マスタ履歴ファイル(最大2、000件)に登録します。

マスタ履歴ファイルは最も新しアクセス履歴から古いアクセス履歴で作成します。

<マスタ履歴ファイル>

[ホームフォルダ]¥History¥History_Master.Master

・ アクセス履歴の表示

アクセス履歴の表示はマスタ履歴ファイルに登録された履歴情報を簡易ファイラ型のアクセス履歴リストか DataGridView 型のアクセス履歴リストに表示します。

(アクセス履歴表示のオプションで選択)

簡易ファイラ型のアクセス履歴の場合、フォルダやファイル情報の表示されたアクセス履歴をクリックしますとフォルダやファイルにアクセスします。

DataGridView 型のアクセス履歴の場合、フォルダやファイルの表示されたアクセス履歴の「起動」ボタンをクリックしますとフォルダやファイルにアクセスします。

「フォルダ」が表示されたアクセス履歴をクリックしますと「Windows エクスプローラー」にて「フォルダ」にアクセスします。

「ファイル」が表示されたアクセス履歴をクリックしますと「ファイル」の拡張子を使用して起動しますので拡張子をサポートしたアプリでファイルにアクセスできます。

<1章 Access History>

・過去のアクセス履歴

マスタ履歴ファイルから溢れた履歴はアクセス履歴溢れファイルへ出力し、過去の履歴ファイルへマージされます。
過去の履歴ファイルはファイル名を選択してアクセス履歴リストを表示します。
過去の履歴ファイルのファイル名に付与されている日時は、先頭のアクセス履歴のイベント発生日時です。
また、過去の履歴ファイルは保存日数を経過しますと抹消します。

<アクセス履歴溢れファイル>

[ホームフォルダ]¥History¥History_Master_yyyymmdd_hhmmss_xx_fff.Old_Master

yyyymmdd : アクセス履歴の実行日付
hhmmss : アクセス履歴溢れファイルの作成時刻
xx : アクセス履歴起動回数
fff : アクセス履歴溢れファイル番号

<過去のアクセス履歴ファイル>

[ホームフォルダ]¥History¥History_Master_yyyymmdd_hhmmss_xxxx_fff.Sum_Master

yyyymmdd : ファイルの先頭アクセス履歴発生日
hhmmss : ファイルの先頭アクセス履歴発生時刻
xxxx : アクセス履歴起動日数
fff : 過去のアクセス履歴ファイルのファイル番号

・アクセス履歴の検索

検索するフォルダやファイル、拡張子を選択してアクセス履歴を検索します。
最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴をフォルダやファイル、拡張子で検索して表示します。

(最大2、000件のアクセス履歴を表示)

フォルダ検索の場合、「配下の全サブフォルダ内のファイル含めて検索」をチェックしますとフォルダ配下のサブフォルダのファイルを含めて検索して表示します。

ファイル検索の場合、収容されているフォルダに関係なく、アクセス履歴中のファイルからファイル名で検索して表示します。

検索して表示したアクセス履歴は「保存」ボタンでファイルに出力しますので、保存したアクセス履歴ファイルとして表示できます。

拡張子検索の場合、選択された拡張子(4種別まで指定可能)で検索して表示します。

検索したアクセス履歴は「保存」ボタンでファイルに出力しますので、保存したアクセス履歴ファイルとして表示できます。

保存したアクセス履歴は保存日数を経過すると消去されます。

検索するフォルダやファイル、拡張子の選択については「簡易ファイラ型アクセス履歴」、「DataGridView型アクセス履歴」の機能です。

・アクセス履歴の編集と保存

表示されたアクセス履歴は不要な履歴を削除編集できます。

編集したアクセス履歴は「保存」ボタンのクリックで保存できます。

保存したアクセス履歴は保存したアクセス履歴の表示から選択して表示できます。

保存したアクセス履歴は保存日数を経過しますと消去します。

保存したアクセス履歴のファイルは保存した日時を付与して保存しています。

[ホームフォルダ]¥Save 配下

・¥Save_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . アクセス履歴マスタファイルの保存

・¥Save_Sum_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . アクセス履歴過去ファイルの保存

・¥Save_Folder (Root 名@フォルダ名)_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . .

アクセス履歴フォルダ抽出ファイルの保存

・¥Save_File (ファイル名)_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . アクセス履歴ファイル抽出ファイルの保存

・¥Save_Extension (@_拡張子)_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . アクセス履歴拡張子抽出ファイルの保存

yyyymmdd : ファイルの保存日
hhmmss : ファイルの保存時刻

・日付変更に伴う再起動

日付が変わりますと再起動してアクセス監視を再スタートします。

アクセス履歴のリスト表示に関係なく再起動します。

「アクセス履歴_01-01」より、アクセス履歴の本体とアクセス履歴の表示を分離しましたので、アクセス履歴のリスト表示に関係なく再起動します。

・メニューの移動

メニューのアイコンをクリックした状態で左右に移動しますと、メニューとアクセス履歴リストが左右に移動します。

・ショートカット

本アプリはメニュー毎に「ショートカット」を準備しています。

詳細は「アクセス履歴」右クリックメニューからヘルプメニューを表示、「[アクセス履歴]ショートカットヘルプ」を選択して、参照してください。

<1章 Access History>

2 アクセス履歴のメニュー

アクセス履歴の保有機能はメニューの「アクセス履歴」を「左クリック」又は「右クリック」で表示します「サブメニュー」から 選択してし実行します。

2.1 アクセス履歴左メニュー

<左メニュー>



① [履歴] 終了

【Access_History】を終了します。

② [履歴] 再起動

【Access_History】を再起動します。

メモリ使用量がパソコンの動作に影響する場合、再起動してください。
メモリ使用量はメニューの「⑨ [履歴] リソース状況の表示」で確認できます。

③ [履歴] アクセス履歴の表示

ファイルに出力されたアクセス履歴マスタファイルを読み込みリスト表示します。
最新のアクセス履歴から、最大2,000件を表示します。
表示されたアクセス履歴のクリックで、フォルダやファイルにアクセスできます。

④ [履歴] アクセス履歴の表示(過去)

マスタ履歴ファイルから溢れたアクセス履歴を表示します。
過去のアクセス履歴ファイル一覧からアクセス履歴ファイルを選択して表示します。
表示されたアクセス履歴(過去)のクリックで、フォルダやファイルにアクセスできます。
過去のアクセス履歴ファイルのファイル名に付与されている日時は、先頭のアクセス履歴のイベント発生日時です。
過去のアクセス履歴は保存日数を経過すると抹消されます。
(アクセス履歴の作成日付で抹消します。)

<過去のアクセス履歴ファイル>

[ホームフォルダ]¥History¥History_Master_yyyymmdd_hhmmss_xxxx_fff.Sum_Master

yyymmdd : ファイルの先頭アクセス履歴発生日
hhmmss : ファイルの先頭アクセス履歴発生時刻
xxxx : アクセス履歴起動日数
fff : ファイル番号

<1章 Access History>

⑤ [履歴] アクセス履歴の検索

検索するフォルダやファイル、拡張子を選択してアクセス履歴を表示します。

選択されたフォルダやファイル、拡張子で、最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索して、最大2,000件を表示します。

フォルダ検索の場合、「配下の全サブフォルダ内のファイル含めて検索」をチェックしますとフォルダ配下のサブフォルダのファイルを含めて検索して表示します。

「配下の全サブフォルダ内のファイル含めて検索」をチェックして検索しますとフォルダ配下のサブフォルダのファイルを含めて検索して表示します。

ファイル検索の場合、ファイルの収容フォルダに関係なく、アクセス履歴ファイルパスからファイル名を検索して表示します。

拡張子検索の場合、選択された拡張子(4種別まで)を検索して表示します。

検索するフォルダやファイル、拡張子の選択については「簡易ファイラ型アクセス履歴」と

「DataGridView型アクセス履歴」の機能です。

⑥ [履歴] 監視の一時停止⇄監視の再開

アクセス履歴監視中のフォルダで、大量のファイルを収容したフォルダのコピーや移動は大量のアクセス履歴が発生します。

大量のファイルを収容したフォルダをコピーや移動する前にアクセス監視を一時的に停止してください。

フォルダをコピーや移動後にアクセス監視を再開してください。

また、アクセス監視の一時停止時にスタック領域にストックされたアクセス履歴をファイル出力します。

⑦ [履歴] メニューの格納

メニューを表示しますと一定時間経過後に隠します。

作業でメニューが邪魔になる場合は[履歴]メニューの格納をクリックして、メニュー(アイコン+アクセス履歴)をタスクトレイ(通知領域)に格納します。

ディスプレイの画面上部にマウスを移動するか、タスクトレイ(通知領域)の「アイコン」クリックでメニューを再表示します。

また、ファンクションキー“F1”をクリックしてもメニューはタスクトレイ(通知領域)に格納され、再度、ファンクションキー“F1”のクリックでメニューが再表示されます。

⑧ [履歴] 抽出した履歴のマージ

アクセス履歴を表示中に発生したアクセス履歴を反映して表示できます。

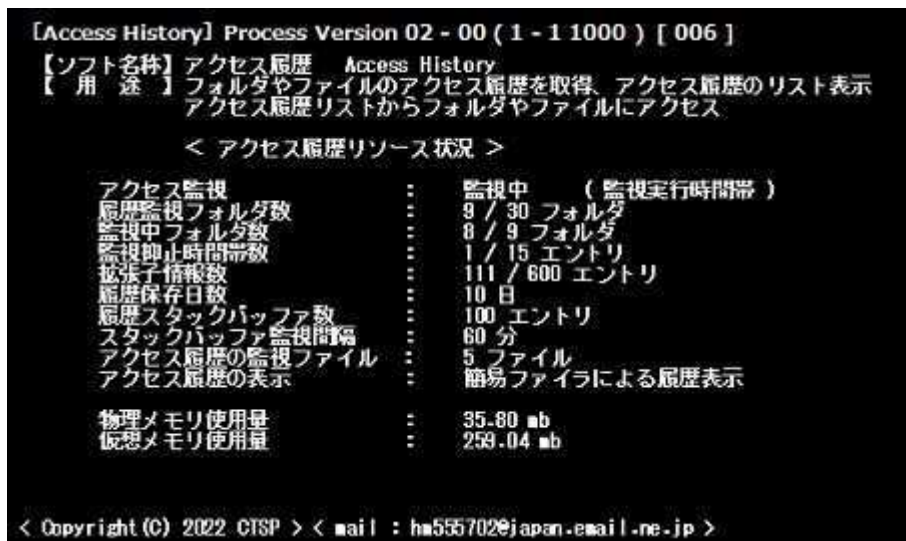
最新のアクセス履歴を作成するために以下の処理を実行します。

- ・スタックバッファに蓄えられたアクセス履歴を抽出し、アクセス履歴抽出ファイルを作成します。
- ・すでに作成済のアクセス履歴抽出ファイルと共にアクセス履歴マスタファイルに反映します。
- ・アクセス履歴マスタファイルから溢れたアクセス履歴をアクセス履歴過去ファイルへ登録します

⑨ [履歴] リソース状況の表示

アクセス履歴のリソース状況やオプションの状態が表示されます。

- ・アクセス監視 「監視中」又は「一時停止中」と(監視時間帯)を表示します。
(監視時間帯)には「監視実行時間帯」又は「監視抑止時間帯」を表示します。
- ・履歴監視フォルダ数 「登録フォルダ数 / 登録可能数」を表示します。
- ・監視中フォルダ数 「監視中フォルダ数 / 登録フォルダ数」を表示します。
- ・監視抑止時間帯数 「登録された時間帯数 / 登録可能時間帯数」を表示します。
- ・拡張子情報数 「登録された拡張子数 / 拡張子登録可能数」を表示します。
- ・履歴保存日数 「アクセス履歴過去ファイル」や「保存したアクセス履歴」の保存日数を表示します。
保存日数を経過したアクセス履歴ファイルは抹消します。
- ・履歴スタックバッファ数 「アクセス履歴スタックバッファのエントリ数を表示します。
- ・スタックバッファ監視間隔 「監視間隔経過時にスタックバッファのアクセス履歴をファイル出力します。
- ・アクセス履歴の監視数 「アクセス履歴抽出ファイルの監視ファイル数」を表示します。
監視数に到達した時点でマスタ履歴ファイルにマージします。
- ・アクセス履歴の表示 「アクセス履歴の表示モード」を表示します。
「簡易ファイラによるアクセス履歴の表示」
「DataGridViewによるアクセス履歴の表示」
- ・物理メモリ使用量 メガバイトで物理メモリ使用量を表示します。
- ・仮想メモリ使用量 メガバイトで仮想メモリ使用量を表示します。



*1 [履歴] リソース状況の表示

表示された「[履歴] リソース状況の表示」のメッセージボックスにマウスを移動しますと、表示時間が延長されます。

<1章 Access History>

⑨ [履歴] アクセス履歴状況の表示

アクセス履歴の抽出状況が表示されます。

- ・アクセス履歴監視 「監視中」又は「一時停止中」を表示します。
- ・監視時間帯 「監視実行時間帯」又は「監視抑止時間帯」を表示します。
- ・実行タイム 「トータルタイム」と「CPUタイム」、「User タイム」を表示します。
- ・履歴件数 「履歴抽出件数」 / 「履歴発生件数」を表示します。
- ・更新履歴 「更新履歴抽出件数」 / 「発生した更新履歴件数」を表示します。
- ・追加履歴 「追加履歴抽出件数」 / 「発生した追加履歴件数」を表示します。
- ・削除履歴 「削除履歴抽出件数」 / 「発生した削除履歴件数」を表示します。
- ・リネーム履歴 「リネーム履歴抽出件数」 / 「発生したリネーム履歴件数」を表示します。
- ・監視エラー回数 「バッファ不足発生回数」を表示します。
- ・抽出ファイル数 「履歴情報出力ファイル数」と「マージ待ちファイル数」を表示します。
マージ待ちファイル数とはマスタアクセス履歴ファイルへのマージ待ちファイル数
- ・物理メモリ 「物理メモリ使用量 (MB)」を表示します。
- ・仮想メモリ 「仮想メモリ使用量 (MB)」を表示します。

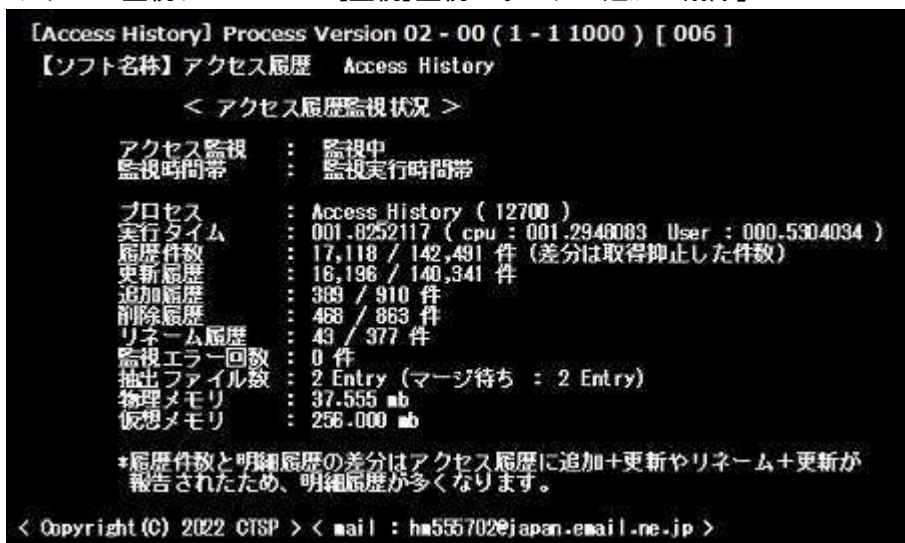
履歴件数と明細履歴件数の差分は「追加+更新」や「リネーム+更新」の履歴が発生した事による差分です。

監視エラーが発生しますとログが出力されます。

ログ： [ホームフォルダ]¥Temp¥Access_History_log_YYYYMMDD.txt]

監視エラーの発生したフォルダのバッファサイズを拡張して下さい。

アクセス監視右メニュー「[監視]監視フォルダの追加・削除」メニューでバッファを拡張できます。



*1 [履歴] アクセス履歴状況の表示

表示された「[履歴] アクセス履歴状況の表示」のメッセージボックスにマウスを移動しますと、表示時間が延長されます。

⑩ アクセス履歴月次集計の表示

アクセス履歴を月次集計して「DataGridView」にて表示します。

フォルダやファイルの最新アクセス日時とアクセス事象に加えて、アクセス発生回数を表示します。

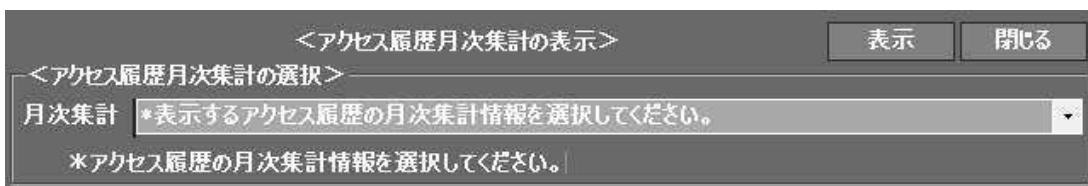
(オプションのアクセス履歴月次集計の取得を設定時に表示します。)

アクセス履歴月次集計ファイルは保存日数での抹消対象外のため、アクセス履歴月次集計のメニューから不要な月次集計履歴を削除してください。

「アクセス履歴月次集計の表示」をクリックしますとアクセス履歴月次集計のファイル選択メニューが表示されます。

表示されたアクセス履歴月次集計ファイルを選択し、「表示」をクリックしますとアクセス履歴月次集計が表示されます。

詳細は「4章 アクセス履歴月次集計」を参照してください。



アクセス履歴月次集計のファイル形式

History_Aggregate_Master_YYYYMM.Master_Aggregate アクセス履歴月次集計ファイル

History_Aggregate_Save_YYYYMM_YYYYMMDD_hhmmss.Save_Aggregate . . 保存したアクセス履歴月次集計ファイル

YYYYMM : アクセス履歴の集計年月

YYYYMMDD : 保存年月日

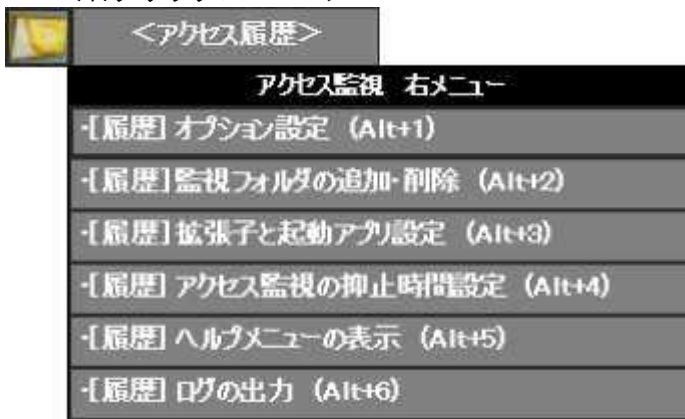
hhmmss : 保存時刻

<1章 Access History>

2.2 アクセス履歴右メニュー

メニューの右クリックで「アクセス履歴 右メニュー」を表示します。

<右クリックメニュー>



① [履歴] オプション設定

アクセス履歴の制御オプションを設定します。
詳細は「7 アクセス履歴のオプション設定」を参照してください。

② [履歴] 監視フォルダの追加・削除

アクセス監視するフォルダの登録、削除ができます。
監視フォルダは最大30エントリまで登録できます。
詳細は「4 アクセス履歴監視フォルダの設定」を参照してください。

③ [履歴] 拡張子と起動アプリ設定

アクセス履歴を監視するファイルをフィルタリングする拡張子を登録します。
拡張子は大文字を入力しても小文字に変換して登録します。
詳細は「5 拡張子と起動アプリ設定」を参照してください。

④ [履歴] アクセス監視の抑止時間設定

ウイルスチェックやファイルのバックアップ時は大量のアクセス履歴が発生し、アクセス監視のバッファエラーが発生する可能性があります。
アクセス監視を抑止する時間帯を設定します。
詳細は「6 アクセス監視の抑止時間設定」を参照してください。

⑤ [履歴] ヘルプメニューの表示

アクセス履歴のヘルプメニューを表示します。



・[履歴] アクセス監視ヘルプの表示
「アクセス監視本体のヘルプを表示します。

・[履歴] アクセス履歴表示_簡易ファイラのヘルプ
「簡易ファイラ型アクセス履歴」のヘルプを表示します。

・[履歴] アクセス履歴表示_Viewのヘルプ
「DataGridView型アクセス履歴」のヘルプを表示します。

・[履歴] アクセス監視ショートカットヘルプの表示
「アクセス監視ショートカットヘルプ」が表示されます。

・[履歴] アクセス監視月次集計ヘルプの表示
「アクセス監視月次集計ヘルプ」が表示されます。

⑥ [履歴] ログの出力

メモリ情報にストックされたログ情報をファイルへ出力します。

ログ：[ホームフォルダ]¥Temp¥Access_History_log_yyyymmdd.txt]

当日のログは定期的に出力されるためコピーを作成してアクセスしてください。
ログファイルは保存日数を経過しますと抹消します。

3 アクセス履歴

3.1 簡易ファイラ型アクセス履歴

[illegible]

取得したアクセス履歴をリスト表示します。
アクセス履歴はディスプレイのサイズでページ毎の
エントリ数が変化します。
最大50エントリ/ページです。

【メニュー】 アクセス履歴(Master) 非表示 保存 ページ 上頁 下頁 閉じる

・フォルダアクセス履歴

2022/03/03 19:06:16	<Created>	Active	C:\Access_History\アクセス履歴\bin\Release\app.publish
------------------------	-----------	--------	--

2022/03/03 19:06:18	<Changed>	Active	C:\Access_History\アクセス履歴\bin\Release Access_History.exe 513.50 KB
------------------------	-----------	--------	--

2022/03/03 19:07:04	<Created> <Changed>	Active	C:\Access_History_0101\History History_Master_20220303_154916_01_068.Sum_Master 246.26 KB
------------------------	------------------------	--------	--

8 / 63

<1章 Access History>

3.2 DataGridView 型アクセス履歴

取得したアクセス履歴をDataGridViewにリスト表示します。

表示するアクセス履歴は「アクセス日時」、「履歴」、「ステータス」、「フォルダ・ファイル情報」でファイル情報の場合はファイルサイズを表示します。

起動ボタンをクリックしますとフォルダ又はファイル情報にアクセスします。

DataGridView 型アクセス履歴の詳細については「<3章 DataGridView 型アクセス履歴>」を参照してください。

アクセス履歴		【マスタ/履歴】		保存	リセット	リセット	リセット	標準件数: 2000 エントリ		最小化	拡大	閉じる
行	列	履歴	アクセス日時	履歴	ステータス	フォルダ・ファイル情報			サイズ	備考		
1	起動	1	2022/01/24 11:12:00	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7ISReminder.exe			187.45 kb	—		
2	起動	2	2022/01/24 11:09:57	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7ISReminder.exe			256.59 kb	—		
3	起動	3	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
4	起動	4	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
5	起動	5	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
6	起動	6	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
7	起動	7	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
8	起動	8	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
9	起動	9	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
10	起動	10	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
11	起動	11	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
12	起動	12	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
13	起動	13	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
14	起動	14	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
15	起動	15	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\VOODChecker.txt			16 b	—		
16	起動	16	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\VOODChecker.txt			16 b	—		
17	起動	17	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\VOODChecker.exe			1.75 mb	—		
18	起動	18	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
19	起動	19	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
20	起動	20	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
21	起動	21	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
22	起動	22	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
23	起動	23	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
24	起動	24	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
25	起動	25	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
26	起動	26	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
27	起動	27	2022/01/24 11:05:40	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
28	起動	28	2022/01/24 11:05:40	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
29	起動	29	2022/01/24 11:05:39	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
30	起動	30	2022/01/24 11:05:39	<Changed>	Active	J:\Program Files\VOOD Auto Firmware Update\Log\MainVlog_220112100847.txt			131.87 kb	—		
31	起動	31	2022/01/24 11:00:14	<Changed>	Hold	C:\Access_History_0101\Temp\Access_History_Index_Log_20220124.txt			—	—		
32	起動	32	2022/01/24 10:57:34	<Created+Changed>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_105734_04_023.history			—	—		
33	起動	33	2022/01/24 10:52:06	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft\EdgeUpdate\MicrosoftEdgeUpdate.exe			219.90 kb	—		
34	起動	34	2022/01/24 10:50:07	<Changed>	Active	C:\Access_History\アクセス履歴\bin\Release\publishAccess_History.exe			481.52 kb	—		
35	起動	35	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7IS.exe			274.29 kb	—		
36	起動	36	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7IS.exe			511.30 kb	—		
37	起動	37	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7IS.exe			229.45 kb	—		
38	起動	38	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7IS.exe			109.88 kb	—		
39	起動	39	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\K7 Computing\K7ISecurity\K7IS.exe			1.83 mb	—		
40	起動	40	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104017_04_005.Old_Master			—	—		
41	起動	41	2022/01/24 10:40:17	<Created+Changed>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104017_04_005.Old_Master			—	—		
42	起動	42	2022/01/24 10:40:17	<Created+Changed>	Active	C:\Access_History_0101\History\History_Master.Master			213.43 kb	—		
43	起動	43	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Active	C:\Access_History_0101\History\History_Master.Master			213.43 kb	—		
44	起動	44	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104017_04_022.history			—	—		
45	起動	45	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104017_04_021.history			—	—		
46	起動	46	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104017_04_020.history			—	—		

4 アクセス履歴監視フォルダの設定

アクセス監視するフォルダの登録、削除ができます。

登録されたフォルダ配下のファイルやサブフォルダのアクセス履歴を監視します。

「サブフォルダを含めて監視」を選択しますとフォルダ配下の全サブフォルダとファイルのアクセスを監視します。

フォルダとしてボリュームのルートも登録できますが、不必要なファイルのアクセス履歴も取得されます。

OSのインストールボリュームについては、ボリュームのルートやユーザプロフィール等のフォルダは登録できません。

(オプションの設定で登録は可能になります。)

ユーザプロフィール配下のサブフォルダは登録可能です。

ファイルサーバ上のフォルダについては、ネットワークドライブとして登録していただければ、アクセス履歴を取得できます。

監視フォルダは最大30エン트리まで登録できます。

4.1 アクセス履歴監視フォルダリスト

アクセス履歴監視フォルダは30エン트리まで登録できます。

登録された監視フォルダの設定変更は、複数のフォルダ選択しての変更が可能です。



① 閉じる

「アクセス履歴監視フォルダの設定」を終了します。

② 追加

「4.2 アクセス履歴フォルダの登録」に示すアクセス監視フォルダを登録するメニューを表示します。

③ 削除

「アクセス監視フォルダ」の選択されたフォルダを削除します。

④ ↑ (上移動)

「アクセス監視フォルダ」の選択されたフォルダを上移動します。

⑤ ↓ (下移動)

「アクセス監視フォルダ」の選択されたフォルダを下移動します。

<1章 Access History>

⑥ アクセス監視フォルタのチェックボックス

- ・アクセス監視フォルタの「チェックボックス」がチェック状態でアクセス監視を実行します。
- ・アクセス監視フォルタ「チェックボックス」のチェックが解除されますとアクセス監視から除外されます。

⑦ 選択したフォルダの監視タイプ変更

- 「アクセス監視フォルタ」を選択して、選択したフォルダの監視タイプの変更を選択します。
- ・「フォルダ配下ののみ」をクリック（フォルダ欄：“ー”を表示）
配下のサブフォルダとファイルのみのアクセス監視を実行します。
- ・「フォルダ配下全ファイル」をクリック（フォルダ欄：“Sub”を表示）
配下の全サブフォルダと全ファイルのアクセス監視を実行します。

⑧ フォルダの選択変更

- 「アクセス監視フォルタ」を選択して、選択したフォルダ配下のファイル監視タイプの変更を選択します。
- ・「全のファイルの選択」をクリック（ファイル欄：“ALL”を表示）
フォルダ配下の全ファイルのアクセス履歴を抽出します。
- ・「拡張子で選択」をクリック（ファイル欄：“Ext”を表示）
フォルダ配下のファイルを拡張子登録情報でフィルタリングしてアクセス履歴を抽出します。

⑧ 選択したフォルダのバッファサイズ変更

- 「アクセス監視フォルタ」を選択して、バッファサイズを選択します。
- ・「4,096」をクリック（標準サイズ）
- ・「8,192」をクリック（拡張サイズ）
- ・「12,288」をクリック（Maxサイズ）
- ・「32,768」をクリック（拡張Maxサイズ）

* バッファサイズについて

バッファエラーの発生した「監視フォルタ」のバッファサイズを拡大してください。

バッファはプライベートの物理メモリが確保されるため、PCの性能に影響します。

拡張Maxサイズ(32,768バイト)の設定は控えてください。

拡張Maxサイズ(32,768バイト)はOSのアクセス確認やファイルのバックアップ、ウイルス検索等の確認時に設定してください。

<1章 Access History>

4.2 アクセス履歴フォルダの登録

「ボリューム」を選択して、表示されたフォルダを選択しますと「アクセス監視フォルダ」が表示されます。「アクセス監視フォルダ」が表示されますと「アクセス監視対象フォルダとファイル」に監視対象のフォルダやファイルが表示されます。



- ①登録
「アクセス履歴フォルダ」に表示されたフォルダを「監視フォルダ」として登録します。
監視フォルダの選択、登録をくり返して複数の監視フォルダの登録ができます。
- ②閉じる
「アクセス履歴フォルダの登録」を終了して「アクセス履歴監視フォルダリスト」に戻ります。
- ③サブフォルダを含めて監視
「サブフォルダを含めて監視」をチェックしますと、選択した「アクセス監視フォルダ」配下の全フォルダと全ファイルがアクセス監視対象になります。
- ④全ファイルの履歴を選択
・「全ファイルの履歴を選択」をチェックしますと、選択した「アクセス監視フォルダ」配下の全ファイルが抽出対象になります。
・「全ファイルの履歴を選択」のチェックを解除しますと、選択した「アクセス監視フォルダ」配下のファイルを登録された拡張子情報でフィルタリングして抽出します。

*1 フォルダ情報とファイル情報の境をクリックして左右に移動しますと表示サイズが拡大縮小します。

<1章 Access History>

5 拡張子と起動アプリ設定

アクセス履歴を監視するファイルをフィルタリングする拡張子を登録します。

拡張子は大文字を入力しても小文字に変換して登録します。

また、拡張子で起動するアプリを登録しますと、アクセス履歴のクリックで登録されたアプリを経由して起動します。

拡張子は最大600エントリまで登録できます。

登録された拡張子は昇順にソートし、20エントリ毎の分割で拡張子を検索します。

アクセス監視を実施するファイルの拡張子とファイルへのアクセス時に起動するアプリを設定します。

「閉じる」をクリックしますと「拡張子と起動アプリ設定」を終了します。

5.1 拡張子の登録

ファイルのアクセス監視を実施する拡張子を登録します。



①「↑」上移動、「↓」下移動

選択された拡張子情報の順位を上移動又は下移動します。

同一拡張子の優先順位を変更する場合に実行します。

異なる拡張子の優先順位を変更してもメニューを閉じると拡張子でソートしますので無効になります。

②「Hold」又は「Activ」

選択された拡張子のアクセス監視を有効(A)、無効(H)に切替えます。

③「ソート」

拡張子でソートして同一拡張子の順位を確認します。

④「削除」

選択された拡張子情報を削除します。

⑤「全削除」

登録された全ての拡張子情報を削除します。

<1章 Access History>

⑥「Windows」

本アプリが保有する拡張子を登録します。

登録した拡張子は全て無効(H)で登録しますので不要な拡張子の削除と無効(H)を有効(A)に切換えてください。

⑦「追加」

拡張子「*.xxx」と「コメント」を入力して「追加」をクリックしますと 拡張子とコメントが反映されます。

拡張子は「*.」に続けて入力してください。

*1 フォルダ情報とファイル情報の境をクリックして左右に移動しますと表示サイズが拡大縮小します。

<1章 Access History>

5.2 アプリの登録

登録した拡張子を選択して、「ボリューム」→「フォルダ」を選択しますとアプリ表示されます。
表示されたアプリを選択しますとアイコンやアプリのパス情報が表示されますので、「更新」をクリックします。
拡張子の表示にアプリの情報が表示されたらアプリの登録が完了です。



- ①「アクセス履歴対象拡張子と起動アプリケーション」の選択
「アクセス履歴対象拡張子と起動アプリケーション」リストからアプリケーションを登録するエントリを選択します。
アプリケーションを登録するエントリを選択しますと 「拡張子とアプリケーションの登録・更新・削除」の「拡張子」に選択したエントリの拡張子が表示されます。
- ②「起動アプリケーションの選択」
「ボリューム」を選択しますとボリューム配下「フォルダ」が表示されます。
登録アプリケーションのフォルダを選択しますと「実行アプリケーション」が表示されますので、選択します。
登録アプリケーションを選択しますと「拡張子とアプリケーションの登録・更新・削除」にアイコンやファイルのパス情報が表示されます。
- ③□引数のチェック
「起動アプリケーション」に引き渡す引数が設定できます。
ファイルパスについては「"%1"」です。
- ④更新
起動アプリケーション情報の確認後 「更新」をクリックしますと「アクセス履歴対象拡張子と起動アプリケーション」リストにアプリケーション情報が反映されます。

6 アクセス監視の抑止時間設定

ウイルスチェックやファイルのバックアップ時は大量のアクセス履歴が発生し、アクセス履歴のバッファエラーが発生する可能性があります。
アクセス監視を抑止する時間帯を設定してください。
アクセス履歴の監視抑止情報は15エントリまで登録できます。

6.1 アクセス監視の抑止時間帯の設定

<アクセス監視の抑止時間帯の設定> 閉じる

<アクセス監視抑止時間帯リスト>

☒ 毎日
 ☐ 毎週
 ☐ 日曜日
 ☐ 毎月
 1
 6 / 15 Entry

抑止時間 0:00:00 ~ 0:00:00

追加 削除 ↓ ↑

抑止	曜日・日	From	To	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	毎日	01:00:00	02:00:00	-
<input type="checkbox"/>	毎日	02:00:00	03:00:00	休止
<input type="checkbox"/>	毎週 月曜日	02:00:00	03:00:00	休止
<input type="checkbox"/>	毎月 1	02:00:00	03:00:00	休止
<input checked="" type="checkbox"/>	毎日	23:58:00	00:01:00	-
<input checked="" type="checkbox"/>	毎日	06:00:00	06:05:00	-

① アクセス監視抑止時間帯

○毎日、○毎週、○毎月を選択し、毎週の場合は曜日、毎月の場合は日付を選択します。
抑止時間帯は開始時刻<終了時間（日付跨りも可）で選択してください。

② 追加

アクセス監視抑止時間帯を選択後、「追加」のクリックで登録します。

③ 削除

☐毎日、☐毎週、☐毎月のいずれかを選択して、「削除」をクリックしますと選択した時間帯が削除されます。

④ 「↓」、「↑」

☐毎日、☐毎週、☐毎月のいずれかを選択して、「↓」、「↑」をクリックしますと時間帯リストが移動します。

⑤ リストの「抑止」チェックボックス

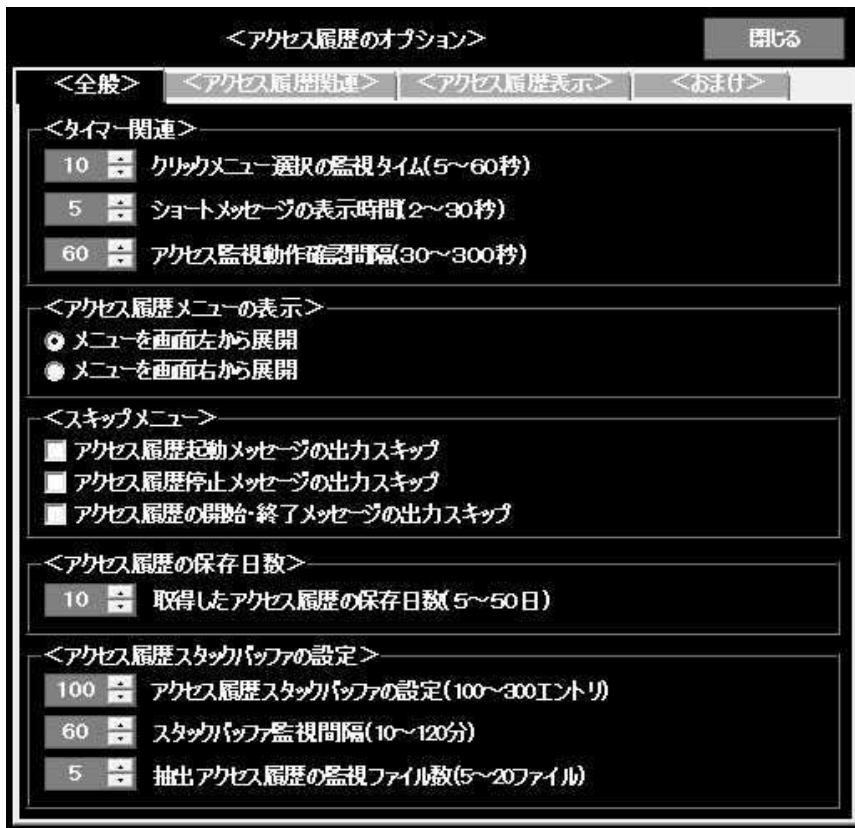
☐チェックボックスをチェックすると「有効」、チェックを外すと「無効」になります。

<1章 Access History>

7 アクセス履歴のオプション設定

メニューの「アクセス履歴」右クリックで「[履歴]オプション設定」を選択して、オプションメニューを表示します。

7.1 全般



(1) タイマー関連

- ① クリックメニュー選択の監視タイム（5～60秒、初期値10秒）
メニューの表示で機能の選択を監視するタイム値を設定します。
- ② ショートメッセージの表示時間（2～30秒、初期値5秒）
動作状況を表示するショートメッセージの表示時間を設定します。
- ③ アクセス監視動作確認間隔（30～300秒、初期値60秒）
アクセス監視の動作確認間隔を設定します。

(2) アクセス履歴メニューの表示

- ① メニューの表示位置の選択
 - ☐ メニューを画面左から展開
メニューを左上の位置に表示します。
 - ☐ メニューを画面右から展開
メニューを中央上の位置に表示します。

(3) スキップメニュー

- ① ☐ アクセス監視起動メッセージの出力抑止
アクセス監視の起動時のショートメッセージの表示をスキップします。
- ② ☐ アクセス監視停止メッセージの出力抑止
アクセス監視の停止時のショートメッセージの表示をスキップします。
- ③ ☐ アクセス履歴の開始・終了メッセージの出力抑止
アクセス履歴の開始・終了メッセージの出力をスキップします。

<1章 Access History>

(4) アクセス履歴の保存日数（5日～50日、初期値10日）

取得したアクセス履歴の保存日数（5～50日）

取得した過去のアクセス履歴の保存日数を設定します。
（作成日付で消去）

(5) アクセス履歴スタックバッファの設定

① アクセス履歴スタックバッファの設定（100～300エントリ、初期値100エントリ）

アクセス履歴スタックバッファのエントリ数を設定します。

② スタックバッファ監視間隔（10～120分、初期値60分）

アクセス履歴スタックバッファの監視間隔を設定します。

アクセス履歴スタックバッファは満杯になるとファイル出力しますが、スタックバッファが満杯にならない場合、スタックバッファのアクセス履歴を強制的にファイル出力します。

③ 抽出済アクセス履歴の監視ファイル数（5～20ファイル、初期値5ファイル）

抽出済のアクセス履歴抽出ファイル数が設定件数になるとアクセス履歴マスタファイルへ反映します。

<1章 Access History>

7.2 アクセス履歴関連

フォルダとファイルの取得するアクセス履歴を設定します。

The screenshot shows the 'Access History Options' dialog box with the 'Access History Related' tab selected. The dialog is divided into several sections:

- <アクセス履歴取得の設定・設定解除>**
 - <フォルダ履歴の抑止設定>**
 - ☐ フォルダ作成履歴の取得抑止
 - ☐ フォルダ削除履歴の取得抑止
 - ☐ フォルダリネーム履歴の取得抑止
 - ☒ フォルダ更新履歴の取得抑止*1
 - <ファイル履歴の抑止設定>**
 - ☐ ファイル作成履歴の取得抑止
 - ☐ ファイル削除履歴の取得抑止
 - ☐ ファイルリネーム履歴の取得抑止
 - ☐ ファイル更新履歴の取得抑止
- <上箱のアクセス履歴>**
 - ☒ アクセス履歴の取得抑止
- <アクセス履歴ファイルの履歴>**
 - ☒ アクセス履歴の取得抑止
- <拡張子による履歴蓄積>**
 - ☐ 登録された拡張子の履歴を取得
 - ☒ 全ての拡張子の履歴を取得
- <アクセス履歴月次集計の取得>**
 - ☒ アクセス履歴の月次集計を取得
- <監視フォルダの登録抑止>**
 - ☒ OSのルートフォルダの登録抑止(os:root)*1
 - ☒ ユーザーフォルダの登録抑止(os:%Users)*1
 - ☒ ユーザーのプロファイルフォルダの登録抑止(os:%Users%UserName)*1

*1 取得抑止や登録抑止を解除しますと大量のアクセス履歴が発生し、バッファ不足が発生する要因となりますので、お勧めできません。

(1) フォルダ履歴の設定

フォルダのアクセス履歴取得を抑止する機能を設定します。

① ☐ フォルダ作成履歴の取得抑止

フォルダ新規作成時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

② ☐ フォルダ削除履歴の取得抑止

フォルダ削除時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

③ ☐ フォルダリネーム履歴の取得抑止

フォルダリネーム時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

④ ☐ フォルダ更新履歴の取得抑止 *1

フォルダ更新時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

(フォルダ更新時のアクセス履歴は配下のサブフォルダやファイル更新でも発生するため抑止解除は注意が必要)

(2) ファイル履歴の設定

ファイルのアクセス履歴取得を抑止する機能を設定します。

① ☐ ファイル作成履歴の取得抑止

ファイル新規作成時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

② ☐ ファイル削除履歴の取得抑止

ファイル削除時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

③ ☐ ファイルリネーム履歴の取得抑止

ファイルリネーム時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

④ ☐ ファイル更新履歴の取得抑止

ファイル更新時に発生するアクセス履歴の取得を抑止します。

*1 取得抑止や登録抑止を解除しますと大量のアクセス履歴が発生し、バッファ不足が発生する要因となりますので、お勧めできません。

<1章 Access History>

(3) 拡張子による履歴取得

- ① ☐ 登録された拡張子のファイル履歴を取得
拡張子と起動アプリで登録された拡張子のみファイル履歴を取得します。
- ② ☐ 全ての拡張子のファイル履歴を取得
拡張子と起動アプリで登録された拡張子を含め全ての拡張子のファイル履歴を取得します。

(4) ゴミ箱のアクセス履歴

- ① ☐ アクセス履歴の取得抑止
ゴミ箱への登録、ゴミ箱からの削除時のアクセス履歴取得を抑止します。

(5) アクセス履歴ファイルのアクセス履歴

- ① ☐ アクセス履歴の取得抑止
本アプリが保有するフォルダやファイルのアクセス履歴取得を抑止します。

(6) アクセス履歴月次集計の取得

- ① ☐ アクセス履歴の月次集計を取得
月毎のアクセス履歴を集計して DataGridView で表示します。

(7) 監視フォルダの登録抑止

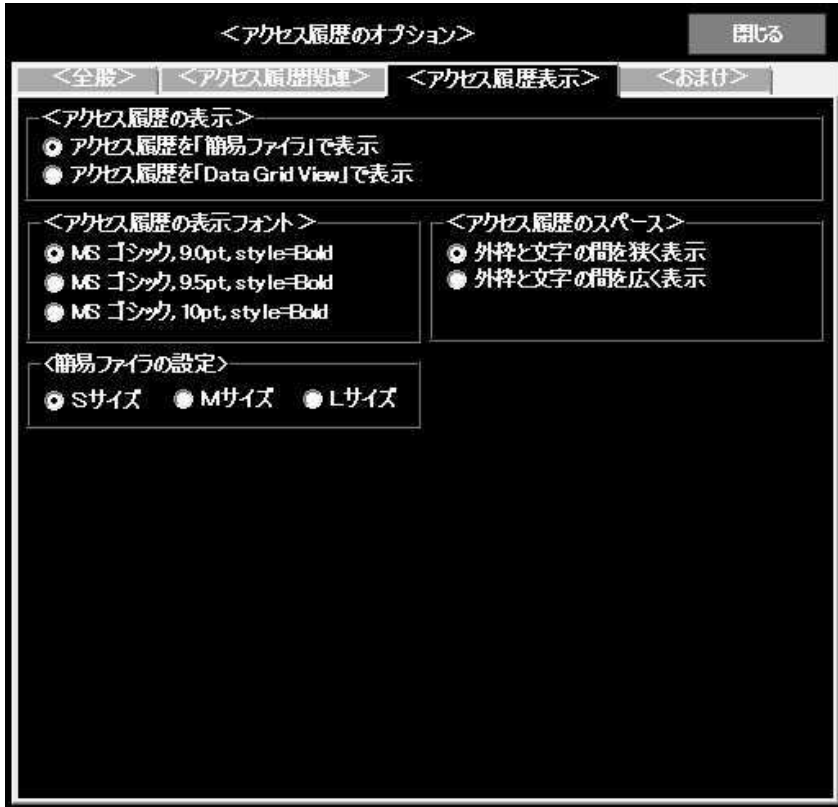
アクセス履歴が多発するフォルダの登録を抑止します。
登録抑止を解除しますと①～③のフォルダ登録が可能になります。
大量のアクセス履歴が発生しバッファ不足が発生する要因となりますのでお勧めできません。

- ① ☐ OS のルートフォルダの登録抑止 (os:root) *1
- ② ☐ ユーザーフォルダの登録抑止 (os:¥users) *1
- ③ ☐ ユーザーのプロファイルフォルダの登録抑止 (os:¥Users¥UserName) *1

*1 取得抑止や登録抑止を解除しますと大量のアクセス履歴が発生し、バッファ不足が発生する要因となりますので、お勧めできません。

7.3 アクセス履歴表示

アクセス履歴の表示手段や表示フォント、表示リストのスペースを設定します。



(1) アクセス履歴の表示

アクセス履歴リストの表示手段を選択します。

- ①○アクセス履歴を「簡易ファイラ」で表示する。
- ②○アクセス履歴を「DataGridView」で表示する。

(2) アクセス履歴の表示フォント

アクセス履歴を表示するフォントを選択します。

フォントは「MS ゴシック」です。

フォントサイズ「9. 0」、「9. 5」、「10. 0」から選択します。

スタイルは「太字」のみです

- ①○MS ゴシック, 9.0pt, style=Bold
- ②○MS ゴシック, 9.5pt, style=Bold
- ③○MS ゴシック, 10pt, style=Bold

(3) アクセス履歴の表示スペース

簡易ファイラ型アクセス履歴の外枠と文字とのスペースを選択します。

- ①○外枠と文字の間を狭く表示
- ②○外枠と文字の間を広く表示

(4) 簡易ファイラーの設定

簡易ファイラ型アクセス履歴のファイル情報表示サイズを選択します。

- ①○Sサイズ(500ピクセル)
9.0ptで77文字、9.5ptで73文字、10.0ptで70文字で表示します。
- ②○Mサイズ(600ピクセル)
9.0ptで93文字、9.5ptで88文字、10.0ptで84文字で表示します。
- ③○Lサイズ(700ピクセル)
9.0ptで110文字、9.5ptで104文字、10.0ptで98文字で表示します。

<1章 Access History>

7.4 おまけ

メニューのバックカラーやインデックスのアイコン色を選択します。



(1) メニューのバックカラー

本アプリのメニューバックカラーを変更できます。
ご利用のPCに合わせてお好みのカラーを選択してください。

- ①○ 7 Black
- ②○ 40 DimGray
- ③○ 49 Indigo
- ④○ 88 Navy
- ⑤○ 101 Peru
- ⑥○ 118 SlateGray

(2) インデックスに付与する「アイコン色」

インデックスに表示するアイコンの色を選択(アイコンのクリック)できます。

①フォルダ

「フォルダアクセス履歴」に付与するアイコンです。

②注意

「Hold(削除された)状態のフォルダやファイル」のアクセス履歴に付与するアイコンです。

③チェック

アクセス履歴のインデックスメニューを実行するために「選択」されたアクセス履歴に付与するアイコンです。

④削除

インデックスメニューで「削除」したアクセス履歴に付与するアイコンです。

8 性能

アクセス履歴抽出機能の性能改善確認環境 : 3.00Ghz 2Core 4スロット* (ご参考までに)
Watcher バッファサイズ(監視フォルダ毎) : 4,096(16 b X 256 entry) ~ 32,768(16 b X 2048 entry)
バッファエラー : Watcher 用バッファの溢れによるアクセス履歴の破棄

① バッファサイズ 8,192(16 b X 512 entry) の性能

・ [01-01] の性能

- 2,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(SSD+4 スロット*)
- 3,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 0~1 件発生。(SSD+4 スロット*)
- 4,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 0~1 件発生。(SSD+4 スロット*)
- 5,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 1~2 件発生。(SSD+4 スロット*)
- 6,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 2~4 件発生。(SSD+4 スロット*)
- 1,500 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(HDD+4 スロット*)
- 2,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 0~1 件発生。(HDD+4 スロット*)
- 3,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 0~1 件発生。(HDD+4 スロット*)

負荷 6,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーが 2~4 件発生 (SSD+4 スロット*)

一時的に 10,000/秒以上の性能が必要になり。アクセス履歴の抽出遅延によりバッファの溢れが発生しました。

バッファエラーは数件発生しますが、その後のアクセス監視は動作しました。

大量ファイルのコピーや移動についてはアクセス監視を一時的に中止して頂き、ご利用ください。

② バッファサイズ 32,768(16 b X 2,048 entry)

・ [01-01] の性能

- 3,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(SSD+4 スロット*)
- 4,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(SSD+4 スロット*)
- 5,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(SSD+4 スロット*)
- 6,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(SSD+4 スロット*)
- 2,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(HDD+4 スロット*)
- 3,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(HDD+4 スロット*)
- 4,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(HDD+4 スロット*)

負荷 6,000 件/秒のアクセスが継続して発生→バッファエラーは発生なし。(SSD+4 スロット*)

一時的に 20,000/秒以上のアクセス履歴抽出が発生してもバッファの溢れは発生しません。

バッファエラーは発生していませんが、プライベートの物理メモリが使用されます。

OS のバックアップやウイルス検索等のアクセス確認にご利用ください。

<1章 Access History>

9 ライブラリについて

①インストールについて

ダウンロードされた圧縮ファイルを新たに作成されたフォルダに解凍します。
解凍されたフォルダ内の「Access_History_setup_0200.exe」を実行します。

(初期導入時やバージョンアップ時も必ず実行してください。)

インストール途中で「ライセンス情報」の入力が要求されますので、ご購入されたライセンス情報を入力して登録します。

「試用」でのご利用も可能ですが、機能が制限されます。

インストール時に過去のバージョンを検知した場合、アンインストールメニューに移行しますのでアンインストールを実行し、再度「Access_History_setup_0200.exe」を実行してインストールしてください。

<過去のバージョンとの互換性について>

*1 「Access_History_0100」をご利用の場合、互換性がないため、「Access_History_0100」のインストールフォルダをユーザ様で削除ください。

*2 「Access_History_0101」をご利用の場合、以下のフォルダは互換性があります。

「Access_History_0101」¥History 配下のファイルを「Access_History_0200」¥History 配下にコピーします。

「Access_History_0101」¥Save 配下のファイルを「Access_History_0200」¥Save 配下にコピーします。

「Access_History_0101」¥Proc 配下のファイルを「Access_History_0200」¥Proc 配下にコピーします。

「Access_History_0101」¥Watcher 配下のファイルを「Access_History_0200」¥Watcher 配下にコピーします。

ファイルのコピー後に「Access_History_0101」のインストールフォルダをユーザ様で削除ください。

②アンインストールについて

解凍されたフォルダ内の「Access_History_setup_0200.exe」を実行します。

実行途中に「アンインストール」メニューが表示されますので、クリックします。

(作業用に作成したフォルダやレジストリを削除します。)

最後にインストールされたフォルダをユーザ様で削除して下さい。

③ライブラリ構成

Access_History.exe	アクセス履歴本体
Access_History_Aggregate.exe	アクセス履歴月次集計 [02-00 で追加]
Access_History_Aggregate_View_Help.exe	アクセス履歴月次集計ヘルプ [02-00 で追加]
Access_History_Aggregate_view.exe	アクセス履歴月次集計 DataGridView 型リスト [02-00 で追加]
Access_History_Filer.exe	アクセス履歴簡易ファイラ型リスト [01-01 で追加]
Access_History_Filer_Help.exe	アクセス履歴簡易ファイラ型リストのヘルプ [01-01 で追加]
Access_History_Help.exe	アクセス履歴操作ヘルプ
Access_History_Key_Help.exe	アクセス履歴ショートカットヘルプ
Access_History_Merge.exe	アクセス履歴マージ [02-00 追加]
Access_History_setup_0200.exe	アクセス履歴セットアップ [02-00 用]
Access_History_ReadMe_0200.txt	アクセス履歴ご利用ガイド [02-00 用]
Access_History_View.exe	アクセス履歴 DataGridView 型リスト [01-01 で追加]
Access_History_View_Help	アクセス履歴 DataGridView 型リストのヘルプ [01-01 で追加]

④フォルダ構成

インストールされたフォルダ配下に作業フォルダを作成します。

・¥History	アクセス履歴ファイルの格納フォルダ
・¥Proc	アクセス履歴制御パラメータの格納フォルダ
・¥Save	保存したアクセス履歴ファイルの格納フォルダ
・¥Temp	アクセス履歴のログファイル一時ファイルの格納フォルダ
・¥Watcher	アクセス監視制御パラメータの格納フォルダ

<1章 Access History>

10 履歴

本アプリの開発につきましてはご支援及びご協力を頂き感謝しております。

(1) 「Access_History_01-00」リリース 2021/11/15

- ・アプリの制御情報
- アクセス履歴監視フォルダ数 30 エントリまで
- アクセス履歴監視抑止情報 10 エントリまで
- 拡張子と起動アプリケーション情報 400 エントリまで
- アクセス履歴のストック情報 100～300 エントリ (オプションで設定)
- アクセス履歴マスタ情報 999 エントリまで

(2) 「Access_History_01-01」リリース 2022/03/02

- ・アプリの制御情報
- アクセス履歴監視フォルダ数 30 エントリまで
- アクセス履歴監視抑止情報 10 エントリまで
- 拡張子と起動アプリケーション情報 600 エントリまで [01-01 で拡大]
- アクセス履歴のストック情報 100～300 エントリ (オプションで設定)
- アクセス履歴表示件数
- ・簡易ファイラー 2,000 エントリ [01-01 で拡大]
- ・DataGridView 2,000 エントリ [01-01 で拡大]

[機能追加] 「Access_History_01-01」

- ① DataGridView によるアクセス履歴の表示をサポートしました。
DataGridView のサポートにより簡易ファイラ型アクセス履歴表示を本体から切離しました。
また、簡易ファイラ型アクセス履歴の表示を見やすくするために DataGridView によるアクセス履歴の表示と類似したフォーマットに変更しました。
(オプションにより選択可能、実行メモリの削減)
- ② 本アプリに関するフォルダやファイルのアクセス履歴を取得抑止しました。
(オプションにより取得可能、不要なアクセス履歴の削減)
- ③ ゴミ箱への登録や削除(ゴミ箱を空にする)のアクセス履歴を取得抑止しました。
(オプションにより取得可能、不要なアクセス履歴の削減)
- ④ アクセス履歴のメニューに「アクセス履歴のマージ」を追加しました。
アクセス履歴表示中に「アクセス履歴のマージ」を実行し、アクセス履歴表示リスト側でアクセス履歴の表示しますと、最新のアクセス履歴が表示できます。
- ⑤ アクセス監視フォルダの登録でフォルダ配下の全ファイルのアクセス履歴を抽出する機能を追加しました。
オプションで「全ての拡張子の履歴を取得」を選択しますと全フォルダで全ての拡張子の履歴を取得します。
特定のフォルダのみ「全ての拡張子の履歴を取得」する機能を追加しました。
- ⑥ アクセス監視(Watcher)バッファサイズ 32,768 バイトをサポートしました。
OS の動作確認やバックアップ機能等の確認時に設定してアクセス履歴を取得して下さい。
プライベートの物理メモリが使用されます。

[機能改善]

- ① 実行アプリのアクセス履歴アイコンで不正なアイコンが設定されるのを改善しました。
- ② 日付変更に伴う再起動時に二重起動が発生するのトラブルを改善しました。
- ③ 監視フォルダの登録が1 エントリの場合にサブフォルダの監視設定やバッファサイズの変更ができない事象を改善しました。
- ④ 大量のアクセス履歴が発生時にアクセス履歴ファイルの日時が同一ファイル名となりファイルの上書きが発生するのを改善しました。
- ⑤ DataGridView 型アクセス履歴表示のサポート、簡易ファイラ型アクセス履歴表示の外出しに伴い、ショートカットを一新しました。
- ⑥ アクセス履歴の表示件数を最大999 件から最大2,000 件に拡張しました。
- ⑦ ログファイルの消去を保存日数経過後に消去するように改善しました。
- ⑧ 監視フォルダ指定によるアクセス履歴の検索機能を廃止し、フォルダやファイル、拡張子指定によるアクセス履歴の検索機能に変更しました。
- ⑨ 表示編集したアクセス履歴は都度保存していた機能を廃止し「保存」ボタンのクリックで保存する機能に変更しました。
- ⑩ ヘルプホームの移動をアイコンやタイトルのクリック & 移動で上下移動に改善しました。

<1章 Access History>

- ⑪アクセス監視抑止時間の日付跨りをサポートしました。

[性能改善]

アクセス履歴の抽出機能の性能改善を実施しました。
[011-00]に比べ2倍以上の性能を確保しました。

(3)「Access_History_02-00」リリース 2022/05/20

・アプリの制御情報	
アクセス履歴監視フォルダ数	30エントリまで
アクセス履歴監視抑止情報	15エントリまで [02-00 で拡大]
拡張子と起動アプリケーション情報	600エントリまで
アクセス履歴のストック情報	100～300エントリ (オプションで設定)
アクセス履歴表示件数	
・簡易ファイラー	2,000エントリ
・DataGridView	2,000エントリ

[機能改善]

- ①バッファエラー発生時に取得するログ情報を変更しました。
- ②アクセス監視抑止時間帯の設定を「オプションメニュー」から「メニューの右クリックメニュー」に移動しました。
- ③アクセス監視抑止時間帯の登録可能数を15エントリに拡張しました。
- ④アクセス監視抑止時間帯の抑止時間を複数選択しての削除や上下移動をサポートしました。
- ⑤監視フォルダ追加・削除のフォルダを複数選択しての削除や上下移動、監視タイプ等の更新をサポートしました。
- ⑥拡張子と起動アプリ設定で複数の拡張子選択しての更新をサポートしました。
- ⑦アクセス監視で不要なログが出力されるのを改善しました。
- ⑧簡易ファイラ型アクセス履歴リストにてパス名が長く3行表示となる場合で、ファイル名が表示されない事象を改善しました。
- ⑨アクセス履歴の月次集計(オプションで動作)をサポートしました。
月次集計はDataGridViewで表示します。
- ⑩アクセス履歴のマージ処理をアクセス履歴本体から分離して、動作するように変更しました。
(アクセス履歴本体の性能改善)
- ⑪ショートカットのアクセスを変更
左クリック関連の機能は[Alt+x]で動作します。
右クリック関連の機能は[Shift+x]で動作します。

11 その他

11.1 注意事項について

- ①大量のファイルを収容したフォルダのコピーや移動
アクセス履歴監視中のフォルダで、大量のファイルを収容したフォルダのコピーや移動は同時に大量のアクセス履歴が発生しバッファエラーが発生する場合があります。
大量のファイルを収容したフォルダをコピーや移動する前にアクセス監視を一時的に停止してください。
また、フォルダをコピーや移動後にアクセス監視を再開してください。
- ②アクセス監視を抑止する時間帯を設定
ウイルスチェックやファイルのバックアップ時は大量のアクセス履歴が発生し、アクセス履歴のバッファエラーが発生します。
アクセス監視を抑止する時間帯を設定してください。
- ③バッファエラーについて
バッファエラーが発生するとログファイルに発生した監視フォルダ情報が出力されます。
バッファエラーの発生した「監視フォルダ」のバッファサイズを拡大してください。
バッファは常駐メモリが確保されるため、PCの性能に影響しますので、バッファエラーの発生した「監視フォルダ」の バッファサイズのみを拡大してください。
- ④万一の場合
アクセス履歴の挙動が不明で終了できない場合、タスクトレイ（通知領域）のアイコンをダブルクリックしますと強制的に終了できる場合があります。

11.2 制約事項について

試用期間（ライセンス未登録）はアクセス監視フォルダの登録が制限されます。

11.3 連絡先について

トラブル時やご要望につきましては、以下のアドレスにメール下さい。
"hm555702@japan.email.ne.jp"

以上

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

1 簡易ファイラ型アクセス履歴メニュー

「簡易ファイラ型アクセス履歴」を起動しますと「アクセス履歴のメニュー」の横に「簡易ファイラ型アクセス履歴」の制御メニューが表示されます。

「簡易ファイラ型アクセス履歴」の制御メニューについて、詳細を示します。

1.1 簡易ファイラ型アクセス履歴の制御メニュー



①アイコン

メニューのアイコンをクリックした状態で左右に移動しますと、メニューとアクセス履歴が左右に移動します。

② メニューの左クリック

メニューを左クリックしますと「アクセス履歴Filer 選択メニュー」が表示されます。

詳細は「1.2 アクセス履歴Filer 選択メニュー」を参照願います。

③ メニューの右クリック

メニューを右クリックしますと「アクセス履歴Filer 操作メニュー」が表示されます。

詳細は「1.3 アクセス履歴Filer 操作メニュー」を参照願います。

④表示中のアクセス履歴

表示中のアクセス履歴情報を表示します。

マウスをかざしますと表示中のアクセス履歴のファイルパスが表示されます。

⑤ [非表示] ⇄ [表示]

アクセス履歴表示中に [非表示] をクリックしますとアクセス履歴情報を非表示にします。

アクセス履歴非表示中に [表示] をクリックしますとアクセス履歴情報を表示します。

⑥保存

表示中のアクセス履歴に日時を付与して保存します。

保存ボタンクリックで保存メニューが表示されますので、上書き保存又は Save ファイル保存から選択して保存します。

「マスタアクセス履歴ファイル」については「Save ファイルに保存」のみのメニューが表示されます。

詳細は「1.4 アクセス履歴Filer 保存メニュー」を参照願います。

⑦ページ

「ページ」をクリックしますとページ移動メニューが表示されます。

詳細は「2 アクセス履歴Filer ページ移動」を参照願います。

⑧上頁

アクセス履歴の上ページに移動します。

先頭ページの表示中はクリックできない状態になります。

⑨下頁

アクセス履歴の下ページに移動します。

最終ページの表示中はクリックできない状態になります。

⑩閉じる

「閉じる」をクリックしますと「簡易ファイラ型アクセス履歴」が終了します。

* マウススクロール

アクセス履歴のリストやページの移動についてはマウススクロールで選択ページが移動します。

(表示初回は移動しません)

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

1.2 アクセス履歴Filer 選択メニュー

「[メニュー]」を左クリックしますと「アクセス履歴Filer 選択メニュー」が表示されます。

アクセス履歴Filer 選択メニュー	
[履歴]	アクセス履歴の表示 (Alt+1)
[履歴]	アクセス履歴の表示(過去) (Alt+2)
[履歴]	アクセス履歴の検索 (Alt+3)
[履歴]	保存したアクセス履歴を表示 (Alt+4)
[履歴]	リソース情報の表示 (Alt+5)

①[履歴]アクセス履歴の表示

マスタ履歴ファイルに登録された履歴情報を簡易ファイラ型アクセス履歴にリスト表示します。

②[履歴]アクセス履歴の表示(過去)

過去のアクセス履歴ファイルの選択メニューから表示する履歴ファイルを選択します。

選択された過去のアクセス履歴ファイルを簡易ファイラ型アクセス履歴にリスト表示します。

過去のアクセス履歴ファイルのファイル名に付与されている日時は、先頭のアクセス履歴のイベント発生日時です。

【メニュー】	<表示するアクセス履歴を選択します。>	閉じる
	<div>History_Master 20220516_014910_0001_001.Sum_Master 35k History_Master 20220517_134453_0001_002.Sum_Master 215k History_Master 20220517_141534_0001_003.Sum_Master 177k History_Master 20220517_151618_0002_001.Sum_Master 171k History_Master 20220518_031025_0002_002.Sum_Master 166k History_Master 20220518_040838_0003_001.Sum_Master 110k History_Master 20220519_075351_0003_002.Sum_Master 147k History_Master 20220519_124837_0003_003.Sum_Master 129k History_Master 20220519_155011_0004_001.Sum_Master 168k History_Master 20220520_033824_0004_002.Sum_Master 81k History_Master 20220520_082856_0005_001.Sum_Master 34k History_Master 20220521_061721_0005_002.Sum_Master 213k History_Master 20220521_100057_0005_003.Sum_Master 285k History_Master 20220521_100057_0005_004.Sum_Master 212k</div>	

③[履歴]アクセス履歴の検索

「アクセス履歴Filer 検索メニュー」が表示されますので「フォルダ検索、ファイル検索、拡張子検索」から検索方法を選択します。

アクセス履歴Filer 検索メニュー	
[履歴]	アクセス履歴のフォルダ検索 (Alt+1)
[履歴]	アクセス履歴のファイル検索 (Alt+2)
[履歴]	アクセス履歴の拡張子検索 (Alt+3)

検索方法によりフォルダやファイル、拡張子の選択メニューが表示されますので、フォルダやファイル、拡張子を選択します。

選択されたフォルダやファイル、拡張子により最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索してアクセス履歴リスト表示します。

フォルダ検索の場合、フォルダ配下のファイル検索か、配下サブフォルダのファイルを含めて検索して表示します。ファイル検索の場合、収容されているフォルダに関係なく、アクセス履歴中のファイルからファイル名で抽出して表示します。

拡張子検索の場合、選択された拡張子(4種別まで)でアクセス履歴のファイルを検索して表示します。

検索は最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索しますので、検索に時間が必要になります。

「アクセス履歴Filer 検索メニュー」については「3 アクセス履歴の検索」を参照願います。

④[履歴]保存したアクセス履歴を表示

保存されたアクセス履歴ファイルの選択メニューから表示する履歴ファイルを選択します。

選択されたアクセス履歴ファイルを簡易ファイラ型アクセス履歴にリスト表示します。

【メニュー】	<表示するアクセス履歴を選択します。>	閉じる
	<div>Save_Master 20220505_154349.Save_Master 230k Save_Master 20220513_054209.Save_Master 221k Save_Sum_Master 20220513_054124.Save_Master 230k</div>	

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

⑤[履歴]リソース状況の表示

簡易ファイラ型アクセス履歴の動作状況が表示されます。

- ・拡張子情報数 「登録された拡張子数 / 登録可能数」を表示します。
- ・Image情報数 「抽出したアイコン数 / 登録可能アイコン数」を表示します。
履歴リストに表示するアイコンの情報数です。
抽出したアイコン数が登録可能アイコン数で満杯に成りますと抽出は抑止され
アルファベットのアイコンが表示されます。
- ・物理メモリ使用量 メガバイトでメモリ使用量を表示します。
- ・仮想メモリ使用量 メガバイトでメモリ使用量を表示します。

```
[Access History Filer] Process Version 02 - 00 ( 1 - 1 )
【ソフト名称】 アクセス履歴 Access History Filer
【用 途 】 フォルダやファイルのアクセス履歴を取得、アクセス履歴のリスト表示
           アクセス履歴リストからフォルダやファイルにアクセス

「Access History」をご利用頂きありがとうございます。

起動プロセス      : Access_History_Filer ( 13116 )
コンピュータ       : kuro_v7_01-PC
ご利用ユーザ       : kuro_v7_01

      < リソース状況 >

拡張子情報数       : 111 / 600 エントリ
Image情報数        : 38 / 999 エントリ
物理メモリ使用量   : 44.94 mb
仮想メモリ使用量   : 296.66 mb

< Copyright (C) 2022 CTSP > < mail : hm555702@japan.email.ne.jp >
```

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

1.3 アクセス履歴Filer 操作メニュー

「[メニュー]」を右クリックしますと「アクセス履歴Filer 操作選択メニュー」が表示されます。

アクセス履歴Filer 操作メニュー
-[履歴] チェック済アクセス履歴の削除 (Alt+1)
-[履歴] チェック済アクセス履歴の削除解除 (Alt+2)
-[履歴] ホールド状態のアクセス履歴を削除 (Alt+3)
-[履歴] 削除済アクセス履歴の抹消 (Alt+4)
-[履歴] アクセス履歴のソート (Alt+5)
-[履歴] 表示中アクセス履歴の全チェック (Alt+6)
-[履歴] 表示中アクセス履歴の全チェック解除 (Alt+7)
-[履歴] アクセス履歴の再読み込み (Alt+8)
-[履歴] ログの出力 (Alt+9)

①[履歴]チェック済アクセス履歴の削除

アクセス履歴リストのアイコンをクリックしますとチェック状態(チェックアイコンに変化)になります。
「[履歴]チェック済アクセス履歴の削除」を選択しますと、チェック状態のアクセス履歴を削除します。

- ・アクセス履歴リストのアイコンが削除アイコンに変化します。
- ・アクセス履歴リストのステータスが「Delete」に更新されます。
- ・アクセス履歴リストの表示カラーが変化します。

②[履歴]チェック済アクセス履歴の削除解除

削除したアクセス履歴リストのアイコンをクリックしますとチェック状態(チェックアイコンに変化)になります。
「[履歴]チェック済アクセス履歴の削除解除」を選択しますと、チェック状態のアクセス履歴を削除解除します。

- ・アクセス履歴リストのアイコンが削除前のアイコンに変化します。
- ・アクセス履歴リストのステータスが元のステータスに戻ります。
- ・アクセス履歴リストの表示カラーが元に戻ります。

③[履歴]ホールド状態のアクセス履歴を削除

ホールド状態(削除済フォルダやファイルのアクセス履歴)のアクセス履歴リストを削除します。

- ・アクセス履歴リストのアイコンが削除アイコンに変化します。
- ・アクセス履歴リストのステータスが「Delete」に更新されます。
- ・アクセス履歴リストの表示カラーが変化します。

④[履歴]削除済アクセス履歴の抹消

「[履歴]チェック済アクセス履歴の削除」や「[履歴]ホールド状態のアクセス履歴を削除」で削除したアクセス履歴を抹消します。

抹消したアクセス履歴リストは「⑧アクセス履歴の再読み込み」でのみ復活できます。

- ・削除したアクセス履歴リストが表示されません。
- ・アクセス履歴リストのエントリ数が更新されます。

⑤[履歴] アクセス履歴のソート

「[履歴] アクセス履歴のソート」を選択しますと「アクセス履歴 Filer ソートメニュー」が表示されます。

アクセス履歴Filer ソートメニュー
・[ソート]パス情報(昇順)+アクセス日時の昇順⇄降順 (Alt+1)
・[ソート]パス情報(降順)+アクセス日時の昇順⇄降順 (Alt+2)
・[ソート]アクセス日時の昇順⇄降順 (Alt+3)
・[ソート]ステータス情報の昇順⇄降順 (Alt+4)
・[ソート] 初期表示時の状態に戻す (Alt+5)

- ・ [ソート]パス情報(昇順)+アクセス日時の昇順⇄降順
アクセス履歴をパス情報(昇順)+アクセス日時の昇順でソートします。
再クリックでパス情報(昇順)+アクセス日時の降順でソートします。
- ・ [ソート]パス情報(降順)+アクセス日時の昇順⇄降順
アクセス履歴をパス情報(降順)+アクセス日時の昇順でソートします。
再クリックでパス情報(降順)+アクセス日時の降順でソートします。
- ・ [ソート]アクセス日時の昇順⇄降順
アクセス履歴をアクセス日時の昇順でソートします。
再クリックでアクセス日時の降順でソートします。
- ・ [ソート]ステータス昇順
アクセス履歴をステータスの昇順にソートします。
再クリックでステータスの降順でソートします。
- ・ [ソート]初期表示の状態に戻す。
アクセス履歴をソート前の表示に戻します。

⑥[履歴] 表示中アクセス履歴の全チェック

現在表示中(表示されたいページのエントリ)のアクセス履歴をチェック状態にします。
ページ移動しますとチェック状態は解除されますので、他の操作を実行後にページ移動して下さい。

⑦[履歴] 表示中アクセス履歴の全チェック解除

現在表示中アクセス履歴のチェック状態を全て解除します。

⑧[履歴] アクセス履歴の再読み込み

表示中アクセス履歴の更新を全て破棄して、再度アクセス履歴を読み込み表示します。

⑨[履歴] ログの出力

ログバッファに取得された情報をファイルに出力します。
ログ：[ホームフォルダ]¥Temp¥Access_History_Filer_Log_yyyymmdd.txt

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

1.4 アクセス履歴Filer 保存メニュー

「簡易ファイラ型アクセス履歴」の「保存」をクリックしますと「アクセス履歴Filer 保存メニュー」が表示されます。

表示中アクセス履歴リストの保存手段を「上書き保存」又は「Save ファイル保存」から選択して保存します。

マスタアクセス履歴の表示では「Save ファイルに保存」のみのメニューが表示されます。



①[履歴]表示中アクセス履歴の上書き保存
オリジナルファイルに上書き保存します。

②[履歴]表示中アクセス履歴を Save ファイルに保存
Save ファイル ID と先頭のアクセス履歴の発生日時で Save ファイル名を編集して保存します。

Save ファイルは[ホームフォルダ]¥Save 配下に保存

- ・¥Save_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . マスタアクセス履歴
- ・¥Save_Sum_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . 過去のアクセス履歴
- ・¥Save_Folder(Root 名@フォルダ名)_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . フォルダ検索のアクセス履歴
- ・¥Save_File(ファイル名)_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . ファイル検索のアクセス履歴
- ・¥Save_Extension(@_拡張子)_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . 拡張子検索のアクセス履歴

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

2 アクセス履歴Filer ページ移動メニュー

ページ移動メニューには「ページ移動情報」と「Cancel」、「ページ5行移動」、「ページ情報」で構成しています。

「ページ情報」は2桁のページ番号、アクセス履歴From-Toとアクセス履歴Fromの履歴日時です。

「ページ情報」をクリックしますと該当ページのアクセス履歴情報が表示されます。

[Tab]やショーカット、マウススクロールで「ページ移動」選択が更新され、[Enter]で移動します。

<ページ移動メニュー>

① P 1 → P 4 への移動 ② Cancel				
01	1	-	35	2022/05/11 2:05:52
02	36	-	70	2022/05/11 2:05:32
03	71	-	105	2022/05/11 2:05:30
04	106	-	140	2022/05/11 2:05:28
05	141	-	175	2022/05/11 2:05:27
06	176	-	210	2022/05/11 2:05:06
07	211	-	245	2022/05/11 2:03:06
08	246	-	280	2022/05/11 2:02:37
09	281	-	315	2022/05/11 2:02:00
10	316	-	350	2022/05/11 2:00:07
11	351	-	385	2022/05/11 1:57:07
12	386	-	420	2022/05/11 1:57:03
13	421	-	455	2022/05/11 1:56:59
14	456	-	490	2022/05/11 1:56:59
15	491	-	525	2022/05/11 1:56:51
V				

① ページ移動情報

コール元のページと移動先のページを表示します。

「ページ移動情報」にオーカスが位置づけ(Color:Maroon)られている場合、[Enter]で移動先のページへ移動します。

② Cancel

ページ移動をキャンセルしてメニューを閉じます。

③ 移動元のページ (DarkGray)

移動元のページ情報を表しています。

④ 移動先のページ (Maroon)

移動先のページ情報を表しています。

[Tab]やショートカットで移動します。

⑤ ページ5行移動(「^」、「V」)

ページ情報が5行上下します。

* マウススクロール

アクセス履歴のリストやページの移動についてはマウススクロールで選択ページが移動します。

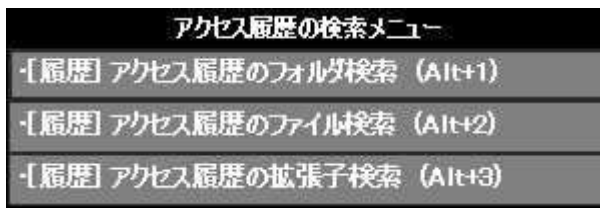
<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

3 アクセス履歴の検索

メニューの「[履歴]アクセス履歴の検索」を選択しますと「アクセス履歴の検索メニュー」が表示されます。

メニューから「アクセス履歴のフォルダ検索」、「アクセス履歴のファイル検索」、「アクセス履歴の拡張子検索」でアクセス履歴を表示します。

34 / 63



- ・[履歴]アクセス履歴のフォルダ検索

「[履歴]アクセス履歴のフォルダ検索」を選択しますと検索するフォルダ選択メニューが表示されます。

詳細は「3.1 アクセス履歴フォルダ選択によるアクセス履歴検索」に示します。

- ・[履歴]アクセス履歴のファイル検索

「[履歴]アクセス履歴のファイル検索」を選択しますと検索するファイル選択メニューが表示されます。

詳細は「3.2 アクセス履歴ファイル選択によるアクセス履歴検索」に示します。

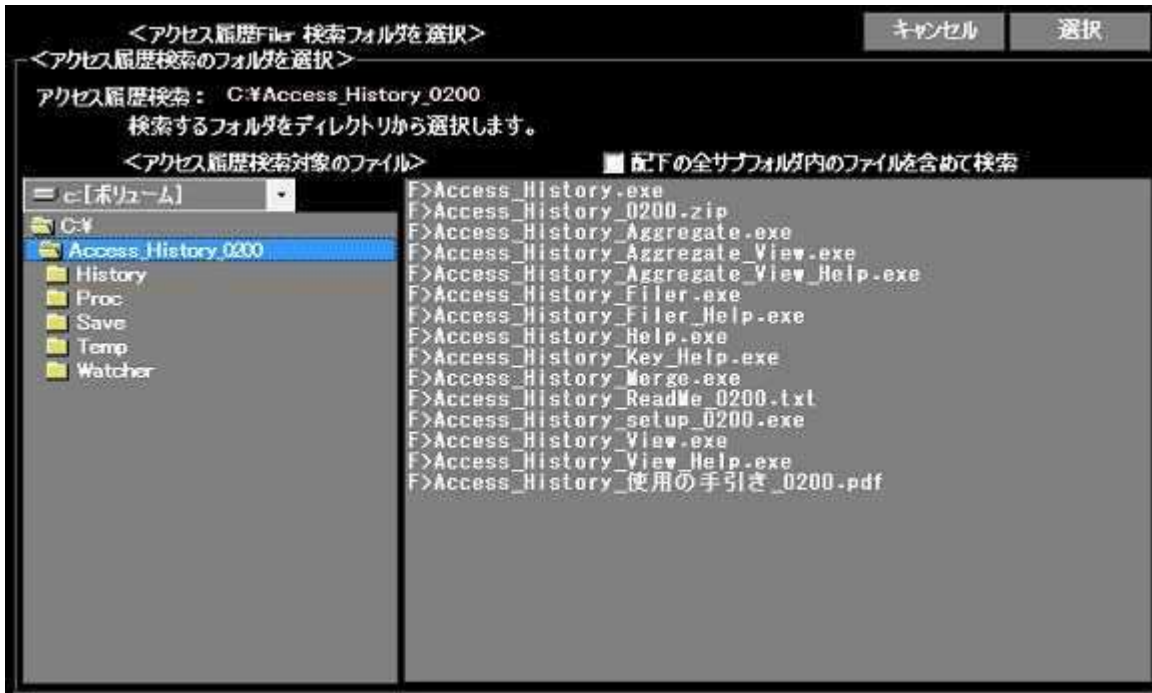
- ・[履歴]アクセス履歴の拡張子検索

「[履歴]アクセス履歴の拡張子検索」を選択しますと検索する拡張子選択メニューが表示されます。

詳細は「3.3 アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索」に示します。

3.1 アクセス履歴フォルダ選択によるアクセス履歴検索

「アクセス履歴の検索フォルダ選択」から、フォルダを選択してアクセス履歴を検索しますと最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴をフォルダでアクセス履歴を検索して表示します。フォルダ検索の場合、メニューの下部「☐配下の全サブフォルダ内のファイルを含めて検索」をチェックしますとフォルダ配下のサブフォルダ内のファイルを含めて検索します。



① ボリュームの選択

検索するフォルダ収容ボリュームを選択しますとボリューム配下のフォルダが表示されます。

② フォルダの選択

検索するフォルダを選択しますとメニュー上部の「アクセス履歴検索」にフォルダのフルパスが表示されます。「☒配下の全サブフォルダ内のファイルを含めて検索」をチェックしますフォルダ配下のサブフォルダ内のファイルを含めて検索します。

③ 検索対象のフォルダやファイルの表示

②のフォルダが選択されるとフォルダ配下のファイルが表示されます。
サブファイル内のファイルを含めて検索する場合はサブフォルダも表示されます。
S>¥xxxxxx ... 検索するサブフォルダ
F>xxxxxx ... 検索するファイル

④ 選択

②「アクセス履歴検索」に検索フォルダが表示された状態で「選択」ボタンをクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴がリストに表示されます。

*1 フォルダ情報とファイル情報の境をクリックして左右に移動しますと表示サイズが拡大縮小します。

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

3.2 アクセス履歴ファイル選択によるアクセス履歴検索

「アクセス履歴の検索ファイル選択」から、ファイルを選択してアクセス履歴を検索しますと最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴をファイル名でアクセス履歴を検索して表示します。ファイル検索の場合、収容フォルダに関係なくファイル名でアクセス履歴を検索します。



① ボリュームの選択

検索するファイルの収容ボリュームを選択しますとボリューム配下のフォルダが表示されます。

② フォルダの選択

検索するフォルダを選択しますと「アクセス履歴検索対象のフォルダとファイル」に収容されたファイルが一覧表示されます。

③ 検索対象のファイルの選択

②のフォルダが選択されるとフォルダ配下のファイルが表示されます。

F>xxxxxxx ... 検索するファイル

検索するファイルを選択しますと「アクセス履歴検索」に検索するファイルが表示されます。

④ 選択

③「アクセス履歴検索」に検索ファイルが表示された状態で「選択」ボタンをクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴がリストに表示されます。

*1 フォルダ情報とファイル情報の境をクリックして左右に移動しますと表示サイズが拡大縮小します。

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

3.3 アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索

「アクセス履歴の検索拡張子の選択」から、検索拡張子を選択選択してアクセス履歴を検索しますと最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を拡張子でアクセス履歴を検索して表示します。
検索する拡張子は4種類まで選択できます。



- ① 検索する履歴の拡張子
検索する拡張子を「*. xxx」で入力して「反映」をクリックしますと「検索する拡張子」に反映されます。
- ② 登録済の拡張子の選択
登録された拡張子を選択しますと「検索する拡張子」に反映されます。
- ③ 検索する拡張子
「①検索する履歴の拡張子」、「②登録済の拡張子の選択」の拡張子が表示されます。
- ④ 選択
③「検索する拡張子」に拡張子が表示された状態で「選択」ボタンをクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴がリストに表示されます。

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

4 アクセス履歴リスト

マスタ履歴ファイルに登録されたアクセス履歴や過去のアクセス履歴ファイルのアクセス履歴、アクセス履歴検索（フォルダ検索、ファイル検索、拡張子検索）されたアクセス履歴が表示されます。

<アクセス履歴リストのエントリ>

	2022/03/21 14:10:51	<Deleted>	Active	C:\Access_History\アクセス履歴\bin\Release\App.publish
	2022/03/21 14:10:51	<Deleted>	Active	C:\Access_History\アクセス履歴\bin\Release\App.publish\Access_History.exe 517.52 KB
	2022/03/21 20:15:42	<Changed>	Active	C:\Access_History_0102\Temp\Access_History_Filer_Log_20220321.txt 489 B

①② ③ ④ ⑤ ⑥

上からフォルダアクセス履歴、実行ファイルのアクセス履歴、ファイルのアクセス履歴の表示事例です。

①アイコン

アクセス履歴のアイコンをクリックしますとチェック済アイコンに変化し、再クリックで元のアイコンに戻ります。チェック済アイコンの状態では「アクセス履歴操作メニュー」で操作できます。

②アイコンの右クリック

アクセス履歴のアイコンを右クリックしますと「アクセス履歴操作メニュー」が表示されます。

アクセス履歴操作メニューの詳細については

<2章 簡易ファイラ型アクセス履歴>

「1.3 アクセス履歴Filer 操作メニュー」を参照ください。

アクセス履歴Filer 操作メニュー	
[-履歴]	チェック済アクセス履歴の削除 (Alt+1)
[-履歴]	チェック済アクセス履歴の削除解除 (Alt+2)
[-履歴]	ホールド状態のアクセス履歴を削除 (Alt+3)
[-履歴]	削除済アクセス履歴の抹消 (Alt+4)
[-履歴]	アクセス履歴のソート (Alt+5)
[-履歴]	表示中アクセス履歴の全チェック (Alt+6)
[-履歴]	表示中アクセス履歴の全チェック解除 (Alt+7)
[-履歴]	アクセス履歴の再読み込み (Alt+8)
[-履歴]	ログの出力 (Alt+9)

③アクセス日時(yyyy/mm/dd hh:mm:ss)

④アクセス履歴(Changed, Created, Deleted, Rename)

⑤アクセスステータス(Activ, Hold, Delete)

⑥アクセス情報のパス

③④⑤⑥の左クリック

フォルダやファイルの表示されたアクセス履歴をクリックしますとフォルダやファイルにアクセスします。

「フォルダ」が表示されたアクセス履歴をクリックしますと「Windows エクスプローラー」で

「フォルダ」にアクセスします。

「ファイル」が表示されたアクセス履歴情報をクリックしますと「ファイル」の拡張子を使用して起動しますので拡張子をサポートしたアプリでファイルにアクセスできます。

「*.exe」「*.lnk」の拡張子については、パス指定で起動しますので、該当のアプリが起動されます。

③④⑤⑥の右クリック

アクセス履歴情報の右クリックで「アクセス履歴のプロパティ」が表示されますので、作成日付や更新日付等の確認ができます。

以上

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

「Access_History」メニュー」の左クリック→「[監視] アクセス履歴の表示」や「[[監視] アクセス履歴の表示 (過去)」、「[[監視] フォルダ・ファイルのアクセス履歴」のクリックで取得したアクセス履歴を表示します。アクセス履歴の表示は「簡易ファイラ型アクセス履歴」と「DataGridView アクセス履歴」で表示します。(オプションで選択します。)

3章では「DataGridView 型アクセス履歴」について説明します。

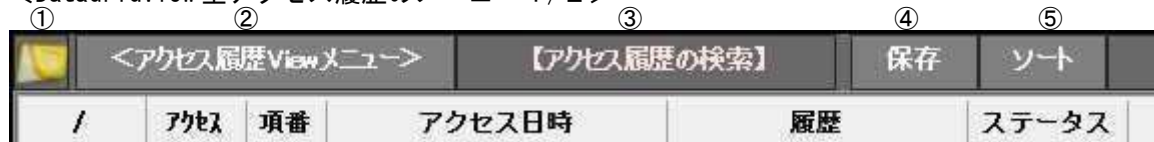
DataGridView 型アクセス履歴は「起動」ボタンと「アクセス日時」、「履歴」、「ステータス」、「フォルダ・ファイル情報」、「サイズ」、「備考」の順に表示されます。「フォルダ・ファイル情報」については表示サイズの変更ができます。(「フォルダ・ファイル情報」と「サイズ」の境を⇄で移動)ファイルの場合、「サイズ」にファイルサイズが表示されます。また、「順番」、「アクセス日時」、「履歴」、「ステータス」、「フォルダ・ファイル情報」のタイトルをクリックしますと、タイトル項目で昇順⇄降順にソートします。

DataGridViewメニュー		【ファイル履歴】		保存	ソート①	ソート②	ソート③	履歴件数:2000件(トリ)		最小化	最大化	閉じる
行	列	順番	アクセス日時	履歴	ステータス	フォルダ・ファイル情報			サイズ	備考		
1	起動	1	2022/01/24 11:17:00	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			187.45 kb	—		
2	起動	2	2022/01/24 11:08:57	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			269.59 kb	—		
3	起動	3	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
4	起動	4	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
5	起動	5	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
6	起動	6	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
7	起動	7	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
8	起動	8	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
9	起動	9	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
10	起動	10	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
11	起動	11	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
12	起動	12	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
13	起動	13	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
14	起動	14	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
15	起動	15	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
16	起動	16	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
17	起動	17	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
18	起動	18	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
19	起動	19	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
20	起動	20	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
21	起動	21	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
22	起動	22	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
23	起動	23	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
24	起動	24	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
25	起動	25	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
26	起動	26	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
27	起動	27	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
28	起動	28	2022/01/24 11:05:41	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
29	起動	29	2022/01/24 11:05:39	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
30	起動	30	2022/01/24 11:05:39	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			131.67 kb	—		
31	起動	31	2022/01/24 11:00:14	<Changed>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_105724_04_023.history			—	—		
32	起動	32	2022/01/24 10:57:34	<Created+Changed>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_105724_04_023.history			—	—		
33	起動	33	2022/01/24 10:52:06	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft Edge\Update\MicrosoftEdgeUpdate.exe			219.90 kb	—		
34	起動	34	2022/01/24 10:50:07	<Changed>	Active	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			461.52 kb	—		
35	起動	35	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			274.29 kb	—		
36	起動	36	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			511.30 kb	—		
37	起動	37	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			229.45 kb	—		
38	起動	38	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			193.88 kb	—		
39	起動	39	2022/01/24 10:40:20	<Changed>	Active	J:\Program Files\VK7 Computing\VK7ISecurity\VK7ISReminder.exe			1.83 ab	—		
40	起動	40	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			—	—		
41	起動	41	2022/01/24 10:40:17	<Created+Changed>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			—	—		
42	起動	42	2022/01/24 10:40:17	<Created+Changed>	Active	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			213.43 kb	—		
43	起動	43	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Active	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			213.43 kb	—		
44	起動	44	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			—	—		
45	起動	45	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			—	—		
46	起動	46	2022/01/24 10:40:17	<Deleted>	Hold	C:\Access_History_0101\History\History_Master_20220124_104917_04_005.Old_Master			—	—		

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

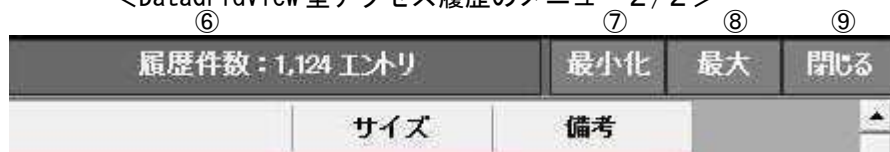
1 アクセス履歴メニュー

<DataGridView 型アクセス履歴のメニュー 1/2>



- ①アイコン
メニューのアイコンをクリックした状態で上下左右に移動しますと、メニューとアクセス履歴が上下左右に移動します。
- ②アクセス履歴 View メニュー
アクセス履歴 View メニューの左クリックと右クリックでメニューが表示されます。
・左クリックで「アクセス履歴 View の選択メニュー」が表示されます。
「アクセス履歴 View の選択メニュー」については「1.1 アクセス履歴 View の選択メニュー」を参照ください。
・右クリックで「アクセス履歴 View の操作メニュー」が表示されます。
「アクセス履歴 View の編集メニュー」については「1.2 アクセス履歴 View の操作メニュー」を参照ください。
- ③表示中のアクセス履歴
表示中のアクセス履歴情報を表示します。
マウスをかざしますとアクセス履歴のパス情報を表示します。
- ④保存
「アクセス履歴の保存メニュー」が表示されます。
「アクセス履歴の保存メニュー」については「1.3 アクセス履歴 View 保存メニュー」を参照ください。
- ⑤ソート
アクセス履歴のソートを実行します。
「ソート」ボタンをクリックしますと、「アクセス履歴 View ソートメニュー」が表示されます。
「アクセス履歴 View ソートメニュー」については「1.4 アクセス履歴 View ソートメニュー」を参照ください。

<DataGridView 型アクセス履歴のメニュー 2/2>



- ⑥履歴件数
表示中のアクセス履歴の履歴件数を表示します。
履歴件数をクリックした状態で上下左右に移動しますと、メニューとアクセス履歴が上下左右に移動します。
- ⑦最小化
表示中アクセス履歴情報を最小化してタスクトレイ(通知領域)格納します。
タスクトレイ(通知領域)のアイコン「<アクセス履歴 View>」をクリックしますとアクセス履歴を表示します。
- ⑧最大→縮小→標準
・「最大」ボタンのクリックで GataGridView の表示を「最大(全画面)」に拡大し、ボタンの表示を「縮小」にします。
・「縮小」ボタンのクリックで GataGridView の表示を「縮小(画面の 60%)」に縮小表示し、ボタンの表示を「標準」にします。
・「標準」ボタンのクリックで GataGridView の表示を「標準(画面の 80%)」に縮小表示し、ボタンの表示を「最大」にします。
- ⑩閉じる
DataGridView 型アクセス履歴の表示を終了します。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

1.1 アクセス履歴の選択メニュー

「アクセス履歴 View メニュー」の左クリックで「アクセス履歴 View 選択メニュー」が表示されます。



①[履歴] アクセス履歴の表示

マスタ履歴ファイルに登録されたアクセス履歴情報を DataGridView ラ型アクセス履歴にリスト表示します。

②[履歴] アクセス履歴の表示(過去)

過去のアクセス履歴ファイルの選択メニューを表示します。

表示された過去のアクセス履歴ファイル一覧から過去のアクセス履歴履歴ファイルを選択します。

選択された過去のアクセス履歴ファイルを DataGridView 型アクセス履歴にリスト表示します。

過去のアクセス履歴ファイルのファイル名に付与されている日時は、先頭のアクセス履歴のイベント発生日時です。



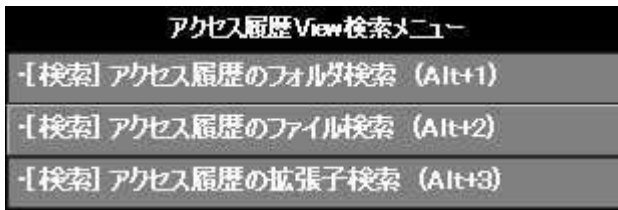
<過去のアクセス履歴ファイル>

[ホームフォルダ]¥History¥History_Master_yyyymmdd_hhmmss_xxxx_fff.Sum_Master

yyyymmdd : ファイルの先頭アクセス履歴発生日
hhmmss : ファイルの先頭アクセス履歴発生時刻
xxx : アクセス履歴起動日数
fff : ファイル番号

③[履歴] アクセス履歴の検索

[履歴] アクセス履歴の検索を選択しますと「アクセス履歴 View 検索メニュー」を表示します。
「アクセス履歴 View 検索メニュー」から「アクセス履歴のフォルダ検索」、「アクセス履歴のファイル検索」
「アクセス履歴の拡張子検索」を選択してアクセス履歴を検索します。



・[検索] アクセス履歴のフォルダ検索

「[検索] アクセス履歴のフォルダ検索」を選択しますと「アクセス履歴検索のフォルダを選択」メニューが表示されますので、検索するフォルダを選択してアクセス履歴を検索します。
アクセス履歴のフォルダ検索は最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索して DataGridView 型アクセス履歴にリスト表示します。
検索するフォルダを選択については「3.1 アクセス履歴フォルダ選択によるアクセス履歴検索」を参照ください。

・[検索] アクセス履歴のファイル検索

「[検索] アクセス履歴のファイル」を選択しますと「アクセス履歴検索のファイルを選択」メニューが表示されますので、検索するファイルを選択してアクセス履歴を検索します。
アクセス履歴のファイル検索は最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を収容フォルダに関係なくファイルで検索して DataGridView 型アクセス履歴にリスト表示します。
検索するフォルダを選択については「3.1 アクセス履歴ファイル選択によるアクセス履歴検索」を参照ください。

・[検索] アクセス履歴の拡張子検索

「[検索] アクセス履歴の拡張子検索」を選択しますと「アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索」メニューが表示されます。
メニューで選択された拡張子(4 種別まで)で、最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索して DataGridView 型アクセス履歴にリスト表示します。
検索する拡張子については「3.3 アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索」を参照ください。

④[履歴] 保存したアクセス履歴を表示

「[履歴] 保存したアクセス履歴」選択しますと保存したアクセス履歴のファイル一覧が表示されます。
表示された保存したアクセス履歴一覧選択されたアクセス履歴が DataGridView 型アクセス履歴にリスト表示されます。

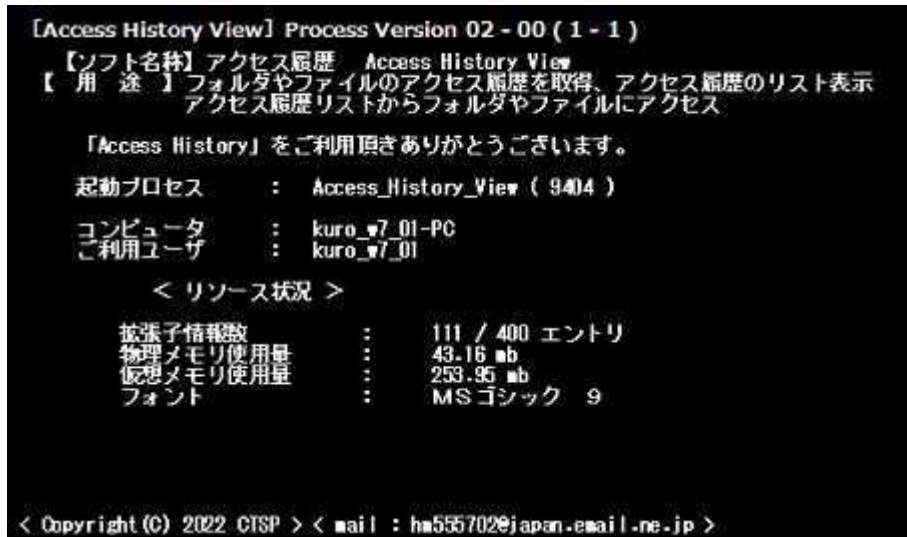


保存したアクセス履歴のファイル情報

- ・¥Save_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . マスタアクセス履歴
- ・¥Save_Sum_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . 過去のアクセス履歴
- ・¥Save_Folder(Root 名@フォルダ名)_yyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . フォルダ検索のアクセス履歴
- ・¥Save_File(ファイル名)_yyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . ファイル検索のアクセス履歴
- ・Save_Extension(@_拡張子)_yyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . 拡張子検索のアクセス履歴

⑤[履歴]リソース状況の表示

DataGridView 型アクセス履歴の動作状況が表示されます。



- ・拡張子情報数 「登録された拡張子数 / 登録可能数」を表示します。
DataGridView 型アクセス履歴では登録された拡張子から起動アプリの情報を抽出して利用します。
- ・物理メモリ使用量 メガバイトでメモリ使用量を表示します。
- ・仮想メモリ使用量 メガバイトでメモリ使用量を表示します。
- ・フォント 表示中のフォントと文字サイズを表示します。

*1 リソース状況の表示

表示された「リソース状況の表示」のメッセージボックスにマウスを移動しますと、表示時間が延びます。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

1.2 アクセス履歴 View リストの操作メニュー

「アクセス履歴 View メニュー」の右クリックで「アクセス履歴 View 操作メニュー」が表示されます。

アクセス履歴 View 操作メニュー
-[履歴] 選択したアクセス履歴の削除 (Alt+1)
-[履歴] 選択したアクセス履歴の削除取消 (Alt+2)
-[履歴] ホールド状態アクセス履歴の削除 (Alt+3)
-[履歴] ホールド状態アクセス履歴の削除取消 (Alt+4)
-[履歴] 削除したアクセス履歴の抹消 (Alt+5)
-[履歴] 全アクセス履歴の選択 (Alt+6)
-[履歴] 全アクセス履歴の選択解除 (Alt+7)
-[履歴] アクセス履歴の再読み込み (Alt+8)
-[履歴] ログの出力 (Alt+9)

- ①[履歴] 選択したアクセス履歴の削除
アクセス履歴リストを選択して「[履歴] 選択したアクセス履歴の削除」を選択しますと選択されたアクセス履歴リストを削除(表示イメージが変化)します。
- ②[履歴] 選択したアクセス履歴の削除取消
削除したアクセス履歴リストを選択して「[履歴] 選択したアクセス履歴の削除取消」を選択しますと選択されたアクセス履歴リストが削除前の状態(表示イメージが戻る)にします。
- ③[履歴] ホールド状態のアクセス履歴を削除
ホールド状態アクセス履歴のアクセス履歴を削除(表示イメージが変化)します。

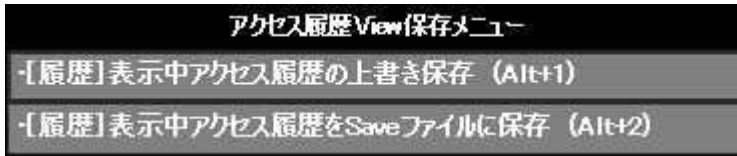
*ホールド状態
アクセス履歴の表示時に履歴情報のパスが削除されていた履歴です。
- ④[履歴] ホールド状態のアクセス履歴を削除取消
削除したホールド状態アクセス履歴を削除取消(表示イメージが戻る)します。
- ⑤[履歴] 削除したアクセス履歴の抹消
削除されたアクセス履歴を抹消(リストから除外)し、アクセス履歴を表示します。
- ⑥[履歴] 全アクセス履歴の選択
全てのアクセス履歴リストを選択状態にします。
- ⑦[履歴] 全アクセス履歴の選択解除
全てのアクセス履歴リストの選択状態を解除します。
- ⑧[履歴] アクセス履歴の初期設定
表示中アクセス履歴を初期状態(最初に表示した状態)に戻します。
- ⑨[履歴] ログの出力
ログバッファに取得されたログをファイルに出力します。
ログファイルは保存日数を経過すると消去されます。

ログ情報: [ホームフォルダ]¥Temp¥Access_History_View_log_yyyymmdd.txt

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

1.3 アクセス履歴 View 保存メニュー

アクセス履歴メニューの[保存]クリックで「アクセス履歴 View 保存メニュー」が表示されます。



① [履歴] 表示中アクセス履歴の上書き保存

表示中の過去のアクセス履歴や保存したアクセス履歴は上書き保存できます。
保存したアクセス履歴はオリジナルファイルへ上書き保存します。

② [履歴] 表示中アクセス履歴を Save ファイルに保存

表示中のアクセス履歴を Save ファイルに保存します。
Save ファイルは保存日数を経過すると消去されます。

[ホームフォルダ]¥Save 配下に保存

- ・ ¥Save_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . マスタアクセス履歴
 - ・ ¥Save_Sum_Master_yyyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . 過去のアクセス履歴
 - ・ ¥Save_Folder(Root 名@フォルダ名)_yyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . フォルダ検索のアクセス履歴
 - ・ ¥Save_File(ファイル名)_yyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . ファイル検索のアクセス履歴
 - ・ Save_Extension(@ 拡張子)_yyymmdd_hhmmss.Save_Master . . . 拡張子検索のアクセス履歴
- *1 保存したアクセス履歴の再保存は上書き保存します。

1.4 アクセス履歴 View のソートメニュー

アクセス履歴メニューの[ソート]クリックで「アクセス履歴 View のソートメニュー」が表示されます。



① [ソート] パス情報 (昇順) + アクセス日時の昇順⇄降順

アクセス履歴パス情報の昇順でアクセス日時で昇順にソートします。
再ソートでアクセス履歴パス情報の昇順でアクセス日時で降順にソートします。

② [ソート] パス情報 (降順) + アクセス日時の昇順⇄降順

アクセス履歴パス情報の降順でアクセス日時で昇順にソートします。
再ソートでアクセス履歴パス情報の降順でアクセス日時で降順にソートします。

③ [ソート] アクセス日時の昇順⇄降順

アクセス履歴のアクセス日時で昇順にソートします。
再ソートでアクセス履歴のアクセス日時で降順にソートします。

④ [ソート] ステータスの昇順⇄降順

アクセス履歴のステータスで昇順にソートします。
再ソートでアクセス履歴のステータスで降順にソートします。

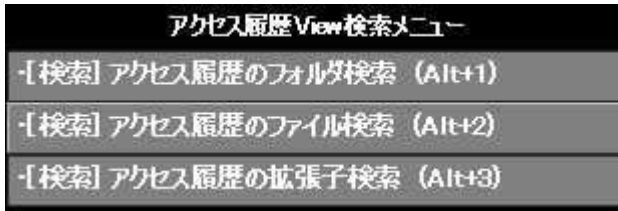
⑤ 初期表示時の状態に戻す

アクセス履歴リストを「項番」の昇順でソートして、初期表示時の状態に戻します。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

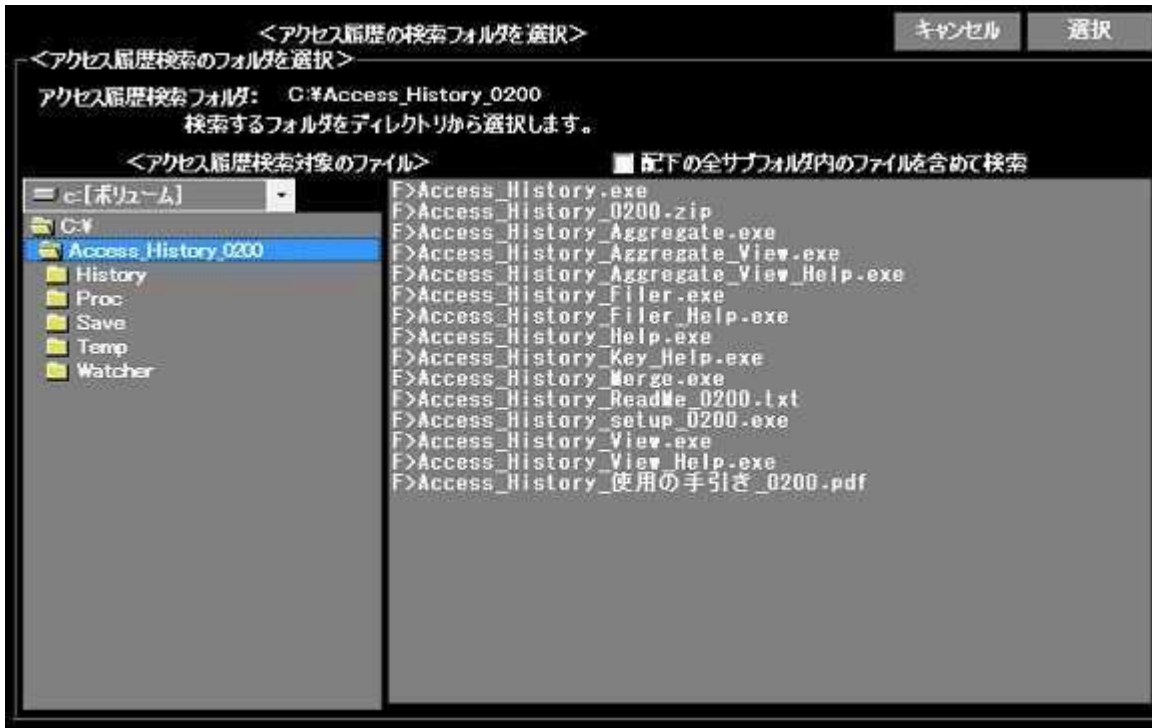
2 アクセス履歴検索

「アクセス履歴 View メニュー」の「[履歴]」アクセス履歴の検索で「アクセス履歴 View 検索メニュー」が表示されます。



2.1 アクセス履歴フォルダ選択によるアクセス履歴検索

「アクセス履歴のフォルダ検索」を選択するとフォルダを選択してアクセス履歴を検索しますと最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴をフォルダでアクセス履歴を検索して表示します。フォルダ検索の場合、メニューの下部「☐配下の全サブフォルダ内のファイルを復命検索」をチェックしますとフォルダ配下のサブフォルダ内のファイルを含めて検索します。



① ボリュームの選択

検索するフォルダ収容ボリュームを選択しますとボリューム配下のフォルダが表示されます。

② フォルダの選択

検索するフォルダを選択しますとメニュー上部の「アクセス履歴検索」にフォルダのフルパスが表示されます。

③ 検索対象のフォルダやファイルの表示

②のフォルダが選択されるとフォルダ配下のファイルが表示されます。サブファイル内のファイルを含めて検索する場合はサブフォルダも表示されます。
S>¥xxxxxxx ... 検索するサブフォルダ
F>xxxxxxx ... 検索するファイル

④ 選択

②「アクセス履歴検索」に検索フォルダが表示された状態で「選択」ボタンをクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴がリストに表示されます。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

2.2 アクセス履歴ファイル選択によるアクセス履歴検索

「アクセス履歴の検索ファイル選択」から、ファイルを選択してアクセス履歴を検索しますと最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴をファイル名でアクセス履歴を検索して表示します。ファイル検索の場合、収容フォルダに関係なくファイル名でアクセス履歴を検索します。



① ボリュームの選択

検索するファイルの収容ボリュームを選択しますとボリューム配下のフォルダが表示されます。

② フォルダの選択

検索するフォルダを選択しますと「アクセス履歴検索対象のファイル」に収容されたファイルが一覧表示されます。

③ 検索対象のファイルの選択

②のフォルダが選択されるとフォルダ配下のファイルが表示されます。

F>xxxxxxx ... 検索するファイル

検索するファイルを選択しますと「アクセス履歴検索」に検索するファイルが表示されます。

④ 選択

③「アクセス履歴検索」に検索ファイルが表示された状態で「選択」ボタンをクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴がリストに表示されます。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

2.3 アクセス履歴拡張子選択によるアクセス履歴検索

「[履歴] アクセス履歴の拡張子検索」を選択しますと「アクセス履歴の検索拡張子の選択」メニューが表示されます。

アクセス履歴を検索する拡張子は4種類まで選択できます。

選択された拡張子で最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を拡張子で検索して表示します。



① 検索する履歴の拡張子

検索する拡張子を「*.xxx」で入力して「反映」をクリックしますと「検索する拡張子」に反映されます。

② 登録済の拡張子の選択

「アクセス履歴の検索拡張子の選択」から登録された拡張子を選択しますと「検索する拡張子」に反映されます。

③ 検索する拡張子

「①検索する履歴の拡張子」と「②登録済の拡張子の選択」で選択された拡張子が表示されます。

④ 選択

「③検索する拡張子」に検索する拡張子が表示された状態で「選択」ボタンをクリックしますとメニューが閉じてアクセス履歴の検索を開始します。

最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を拡張子でアクセス履歴を検索して表示します。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

3 DataGridView の機能

DataGridViewについては、列タイトルの「項番」、「アクセス日時」、「履歴」、「ステータス」、「フォルダ・ファイル情報」のクリックでソートします。
「サイズ」、「備考」はクリックしてもソートができないように設定しています。
また、行の追加、項目の編集もできない設定です。
「アクセス履歴 View メニュー」の右クリックメニューの操作メニューから編集して下さい。

<アクセス履歴 View メニュー>		【過去のアクセス履歴】		History_Master_20220122_033230_01_002_Sum_Master 133k		保存	ソート①	ソート②	ソート③
↑	フォルダ	項番	アクセス日時	履歴	ステータス	フォルダ、ファイル情報			
1	起動	1	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Windows Kits\10\bin\10.0.17763.0\x64\wakepri.exe			
2	起動	2	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft Visual Studio\Shared\NuGetPackages\micro			
3	起動	3	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft Visual Studio\Shared\NuGetPackages\micro			
4	起動	4	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Windows Kits\10\bin\10.0.18362.0\arm64\wakepri.exe			
5	起動	5	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows\10.0.18362.0\arm64\wakepri.exe			
6	起動	6	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows\10.0.18362.0\arm64\wakepri.exe			
7	起動	7	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows\10.0.18362.0\arm64\wakepri.exe			
8	起動	8	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows\10.0.18362.0\arm64\wakepri.exe			
9	起動	9	2022/01/22 3:32:30	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows\10.0.18362.0\arm64\wakepri.exe			
10	起動	10	2022/01/22 3:32:29	<Changed>	Active	J:\Program Files\Registry Finder\Wakelang.exe			
11	起動	11	2022/01/22 3:32:29	<Changed>	Active	J:\Program Files\Microsoft Visual Studio\2019\Community\Common7\Top			
12	起動	12	2022/01/22 3:32:29	<Changed>	Active	J:\Program Files\Windows Kits\10\bin\10.0.18362.0\arm64\wakecert.exe			
13	起動	14	2022/01/22 3:32:29	<Changed>	Active	C:\Access_History_0101\History\History_Data_Count_20220122-Count_Ma			

① 全行選択

「↑」をクリックしますと全行が選択状態になります。

② 行の選択

特定の行をクリックし移動すると複数行が選択状態になります。
「アクセス履歴 View メニュー」右クリックの操作メニューで操作します。

アクセス履歴 View 操作メニュー	
-[履歴]	選択したアクセス履歴の削除 (Alt+1)
-[履歴]	選択したアクセス履歴の削除取消 (Alt+2)
-[履歴]	ホールド状態アクセス履歴の削除 (Alt+3)
-[履歴]	ホールド状態アクセス履歴の削除取消 (Alt+4)
-[履歴]	削除したアクセス履歴の抹消 (Alt+5)
-[履歴]	全アクセス履歴の選択 (Alt+6)
-[履歴]	全アクセス履歴の選択解除 (Alt+7)
-[履歴]	アクセス履歴の再読み込み (Alt+8)
-[履歴]	ログの出力 (Alt+9)

「アクセス履歴 View 操作メニュー」については
「1.2 アクセス履歴 View リストの操作メニュー」を
参照ください。

③ 「Delete」キー (使用不可)

特定の行の選択状態で「Delete」キーを打鍵しても行は抹消できません。

④ 「フォルダ・ファイル情報」の列は列サイズの拡大、縮小が可能です。

他の列は拡大、縮小ができない設定です。

⑤ 「起動」ボタン

アクセス履歴の表示されたフォルダ・ファイルにアクセスします。
「フォルダ」が表示されたアクセス履歴の「起動」をクリックしますと「Windows エクスプローラー」で「フォルダ」にアクセスします。
「ファイル」が表示されたアクセス履歴の「起動」をクリックしますと「ファイル」の拡張子を使用して起動しますので拡張子をサポートしたアプリでファイルにアクセスできます。
「*.exe」「*.lnk」の拡張子については、パス指定で起動しますので、該当のアプリが起動されます。

⑥ Up(↑)、Down(↓)

DataGridViewの選択ラインがUp(↑)で上移動、Down(↓)で下移動します。

⑦ Ctrl+PageUp、Ctrl+PageDown

DataGridViewの選択ラインがCtrl+PageUpで上ページ移動、Ctrl+PageDownで下ページ移動します。

<3章 DataGridView 型アクセス履歴>

- ⑧ Ctrl+Up
DataGridView の先頭行に移動します。
- ⑨ Ctrl+Down
DataGridView の最終行に移動します。

以上

アクセス履歴の発生回数を月次集計して「DataGridView」にて表示します。
フォルダやファイルの最新アクセス日時とアクセス事象に加えて、アクセス履歴発生回数を表示します。
(オプションの「アクセス履歴月次集計の取得」を設定後に表示できます。)

「フォルダ・ファイル情報」については表示サイズの変更ができます。
ファイルの場合、「サイズ」にファイルサイズが表示されます。
また、「項番」、「アクセス日時」、「アクセス履歴」、「ステータス」、「発生件数」、「フォルダ・ファイル情報」のタイトルをクリックしますと、タイトル項目で昇順⇄降順にソートします。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

1 アクセス履歴月次集計のメニュー

<アクセス履歴月次集計のメニュー 1/2>



<アクセス履歴月次集計のメニュー 2/2>



①アイコン

メニューのアイコンをクリックした状態で上下左右に移動しますと、「アクセス履歴月次集計」フォームが移動します。

②メニュー

メニューを左クリックしますと「アクセス履歴月次集計の選択メニュー」が表示されます。
「アクセス履歴月次集計の選択メニュー」については「1.1 アクセス履歴月次集計の選択メニュー」を参照ください。
メニューを右クリックしますと「アクセス履歴月次集計の操作メニュー」が表示されます。
「アクセス履歴月次集計の操作メニュー」については「1.2 アクセス履歴月次集計の操作メニュー」を参照ください。

③アクセス履歴情報

表示中のアクセス履歴集計情報を表示します。
「アクセス履歴情報」をクリックしますと「メニュー」のみの表示に変化し、再クリックで元に戻ります。

④アクセス履歴の詳細情報

表示中のアクセス履歴月次集計の履歴件数とアクセス履歴月次集計のファイル名を表示します。

⑤保存

「アクセス履歴月次集計の保存メニュー」が表示されます。
「アクセス履歴月次集計の保存メニュー」については「1.3 アクセス履歴月次集計の保存メニュー」を参照ください。

⑥最小化

表示中アクセス履歴情報を最小化してタスクトレイ(通知領域)に格納します。
タスクトレイ(通知領域)のアイコン「<アクセス履歴月次集計>」をクリックしますとアクセス履歴を表示します。

⑦最大→縮小→標準

- ・「最大」ボタンのクリックで GataGridView の表示を「最大(全画面)」に拡大し、ボタンの表示を「縮小」にします。
- ・「縮小」ボタンのクリックで GataGridView の表示を「縮小(画面の 60%)」に縮小表示し、ボタンの表示を「標準」にします。
「縮小(画面の 60%)」の場合、「③アクセス履歴情報」は表示しません。
- ・「標準」ボタンのクリックで GataGridView の表示を「標準(画面の 80%)」に縮小表示し、ボタンの表示を「最大」にします。

⑩閉じる

アクセス履歴月次集計を終了します。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

1.1 アクセス履歴月次集計選択メニュー

メニューを左クリックしますと「アクセス履歴月次集計の選択メニュー」が表示されます。

<アクセス履歴月次集計の選択メニュー>

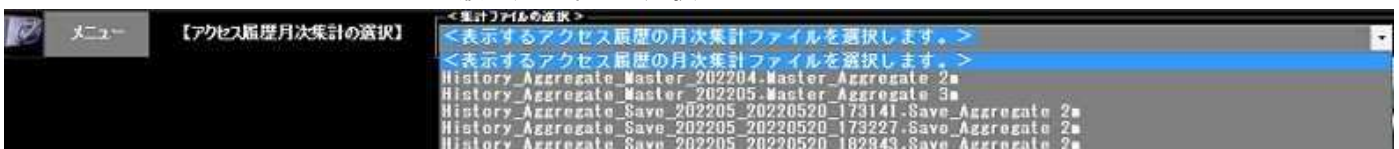
アクセス履歴月次集計の選択メニュー	
[集計]	アクセス履歴月次集計の選択 (Alt+1)
[集計]	アクセス履歴月次集計のフォルダ検索 (Alt+2)
[集計]	アクセス履歴月次集計のファイル検索 (Alt+3)
[集計]	アクセス履歴月次集計の拡張子検索 (Alt+4)
[集計]	表示中アクセス履歴月次集計の抹消 (Alt+5)
[集計]	リソース状況の表示 (Alt+6)

①[集計] アクセス履歴月次集計の選択

アクセス履歴月次集計ファイルや保存した「アクセス履歴月次集計の選択メニュー」から表示するアクセス履歴月次集計ファイルを選択します。

選択されたアクセス履歴月次集計ファイルをDataGridView型アクセス履歴にリスト表示します。

<アクセス履歴月次集計の選択メニュー>



アクセス履歴月次集計のファイル形式

- ・アクセス履歴月次集計ファイル
History_Aggregate_Master_YYYYMM.Master_Aggregate
 - ・保存したアクセス履歴月次集計ファイル
History_Aggregate_Save_YYYYMM_YYYYMMDD_HHMMSS.Save_Aggregate
- YYYYMM : アクセス履歴の集計年月
YYYYMMDD : 保存年月日
HHMMSS : 保存時刻

②[集計] アクセス履歴月次集計のフォルダ検索

選択されたフォルダにより表示中のアクセス履歴月次集計リスト から検索して、DataGridView型アクセス履歴にリスト表示します。

フォルダ検索の場合、フォルダ配下のファイルに対するアクセス履歴月次集計検索とフォルダ配下のサブフォルダ内のファイルを含めたアクセス履歴月次集計検索ができます。

③[集計] アクセス履歴月次集計のファイル検索

選択されたファイルにより最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索して、DataGridView型アクセス履歴にリスト表示します。

ファイル検索の場合、収容されているフォルダに関係なく、アクセス履歴中のファイル履歴からファイル名を抽出してアクセス履歴を検索します。

④[集計] アクセス履歴の拡張子検索

選択された拡張子により最新のアクセス履歴から過去のアクセス履歴を検索して、DataGridView型アクセス履歴にリスト表示します。

拡張子検索の場合、メニューに入力された拡張子(4種別まで)で、アクセス履歴中のファイル履歴から抽出してアクセス履歴を検索します。

⑤[集計] 表示中アクセス履歴月次集計の抹消

表示中のアクセス履歴月次集計を抹消します。

ただし、表示中のアクセス履歴月次集計が当月の場合は抹消できません。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

⑥[集計]リソース状況の表示

アクセス履歴の月次集計のリソース状況が表示されます。

- ・起動プロセス アクセス履歴の月次集計のプロセス番号
- ・アクセス履歴月次集計 集計したアクセス履歴月次数
- ・拡張子情報数 「登録された拡張子数 / 登録可能数」を表示します。
DataGridView 型アクセス履歴では登録された拡張子から起動アプリの情報を抽出して利用します。
- ・物理メモリ使用量 メガバイトでメモリ使用量を表示します。
- ・仮想メモリ使用量 メガバイトでメモリ使用量を表示します。
- ・フォント 表示中のフォントと文字サイズを表示します。

```
[Access History Aggregate] Process Version 02 - 00 ( 1 - 1 )
【ソフト名称】 アクセス履歴月次集計    Access History Aggregate View
【 用 途 】    フォルダやファイルのアクセス履歴を取得、アクセス履歴月次集計のリス
               アクセス履歴リストからフォルダやファイルにアクセス
               アクセス履歴月次集計と集計リストの表示

「Access History」をご利用頂きありがとうございます。

起動プロセス      :   Access_History_Aggregate_View( 13972 )

コンピュータ      :   kuro_w7_01-PC
ご利用ユーザ      :   kuro_w7_01

    < リソース状況 >

   アクセス履歴月次集計  :      11,997 エントリ

   拡張子情報数         :      111 / 600 エントリ
   物理メモリ使用量     :      136.98 mb
   仮想メモリ使用量     :      358.38 mb
   フォント             :      MSゴシック 9

< Copyright (C) 2022 CTSP > < mail : hm555702@japan.email.ne.jp >
```

*1 リソース状況の表示

表示された「リソース状況の表示」のメッセージボックスにマウスを移動しますと表示時間が延びます。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

1.2 アクセス履歴月次集計の選択メニュー

メニューを右クリックしますと「アクセス履歴月次集計操作メニュー」が表示されます。
<アクセス履歴月次集計操作メニュー>

アクセス履歴月次集計の操作メニュー
[集計]選択されたアクセス履歴月次集計の削除 (Alt+1)
[集計]選択されたアクセス履歴月次集計の削除解除 (Alt+2)
[集計]ホールド状態のアクセス履歴月次集計の削除 (Alt+3)
[集計]ホールド状態のアクセス履歴月次集計の削除解除 (Alt+4)
[集計]削除されたアクセス履歴月次集計の抹消 (Alt+5)
[集計]削除されたアクセス履歴月次集計の解除 (Alt+6)
[集計]アクセス履歴月次集計の再読み込み (Alt+7)
[集計]ログの出力 (Alt+8)

- ①[履歴] 選択したアクセス履歴月次集計の削除
アクセス履歴月次集計リストを選択して「[履歴] 選択したアクセス履歴月次集計の削除」を選択しますと選択されたアクセス履歴月次集計リストを削除(表示イメージが変化)します。
- ②[履歴] 選択したアクセス履歴月次集計の削除取消
削除したアクセス履歴月次集計リストを選択して「[履歴] 選択したアクセス履歴月次集計の削除取消」を選択しますと選択されたアクセス履歴月次集計リストが削除前の状態(表示イメージが戻る)にします。
- ③[履歴] ホールド状態のアクセス履歴月次集計を削除
ホールド状態アクセス履歴月次集計リストのアクセス履歴月次集計を削除(表示イメージが変化)します。

*ホールド状態
アクセス履歴月次集計リストの表示時にアクセス履歴月次集計情報のパスが削除されていた履歴です。
- ④[履歴] ホールド状態のアクセス履歴月次集計リストを削除取消
削除したホールド状態アクセス履歴を削除取消(表示イメージが戻る)します。
- ⑤[履歴] 削除したアクセス履歴月次集計の抹消
削除されたアクセス履歴月次集計リストを抹消(リストから除外)し、アクセス履歴月次集計を表示します。
- ⑥[履歴] 削除したアクセス履歴月次集計の解除
削除されたアクセス履歴月次集計リストの削除を解除(表示イメージが戻る)、アクセス履歴月次集計を表示します。
- ⑦[履歴] アクセス履歴月次集計の再読み込み
表示中アクセス履歴を初期状態(最初に表示した状態)に戻します。
- ⑧[履歴] ログの出力
ログバッファに取得されたログをファイルに出力します。
ログファイルは保存日数を経過すると消去されます。

ログ情報: [ホームフォルダ]¥Temp¥Access_History_Aggregate_log_yyyymmdd.txt

1.3 アクセス履歴月次集計の保存メニュー

アクセス履歴月次集計のメニューの「保存」ボタンをクリックしますと「アクセス履歴月次集計の保存メニュー」が表示されます。

<アクセス履歴月次集計の保存メニュー>

アクセス履歴月次集計の保存メニュー
[集計]表示中アクセス履歴月次集計の上書き保存 (Alt+1)
[集計]表示中アクセス履歴月次集計のSave保存 (Alt+2)

- ①[履歴] 表示中アクセス履歴月次集計の上書き保存
先月までのアクセス履歴月次集計や保存したアクセス履歴月次集計は上書き保存できます。
上書き保存はアクセス履歴月次集計はオリジナルファイルへ上書き保存します。
- ②[履歴] 表示中アクセス履歴月次集計の Save ファイルに保存
表示中のアクセス履歴月次集計を Save ファイルに保存します。
Save ファイルは保存日数を経過すると消去されます。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

2 アクセス履歴の検索

「アクセス履歴月次集計のフォルダ検索」や「アクセス履歴月次集計のファイル検索」、「アクセス履歴の拡張子検索」の選択メニューについて示します。

2.1 アクセス履歴月次集計検索フォルダの選択

選択されたフォルダにより表示中のアクセス履歴月次集計リスト から検索して、DataGridView 型アクセス履歴リスト表示します。

「☒全サブフォルダ内のファイルを含めて検索」をチェックしますとフォルダ配下のファイルに対するアクセス履歴月次集計検索とフォルダ配下のサブフォルダ内のファイルを含めたアクセス履歴月次集計検索ができます。



① ボリュームの選択

検索するフォルダ収容ボリュームを選択しますとボリューム配下のフォルダが表示されます。

② フォルダの選択

検索するフォルダを選択しますとメニュー上部の「アクセス履歴検索フォルダ」にフォルダのフルパスが表示されます。

③ 検索対象のフォルダやファイルの表示

②のフォルダが選択されるとフォルダ配下のファイルが表示されます。
サブファイル内のファイルを含めて検索する場合はサブフォルダも表示されます。

S>¥xxxxxx ... 検索するサブフォルダ

F>xxxxxx ... 検索するファイル

④ 選択

「アクセス履歴検索フォルダ」に検索フォルダが表示された状態で「選択」をクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴月次集計がリストに表示されます。

*1 フォルダ情報とファイル情報の境をクリックして左右に移動しますと表示サイズが拡大縮小します。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

2.2 アクセス履歴月次集計検索ファイルの選択

選択されたファイルにより表示中のアクセス履歴月次集計リスト から検索して、DataGridView 型アクセス履歴リスト表示します。
ファイル検索の場合、収納フォルダに関係なくファイル検索します。



① ボリュームの選択

検索するファイルの収容ボリュームを選択しますとボリューム配下のフォルダが表示されます。

② フォルダの選択

検索するフォルダを選択しますと「アクセス履歴検索対象のファイル」に収容されたファイルが一覧表示されます。

③ 検索対象のファイルの選択

②のフォルダが選択されるとフォルダ配下のファイルが表示されます。

F>xxxxxxx・・・検索するファイル

検索するファイルを選択しますと「アクセス履歴検索」に検索するファイルが表示されます。

④ 選択

③「アクセス履歴検索」に検索ファイルが表示された状態で「選択」をクリックしますとメニューが閉じて検索したアクセス履歴がリストに表示されます。

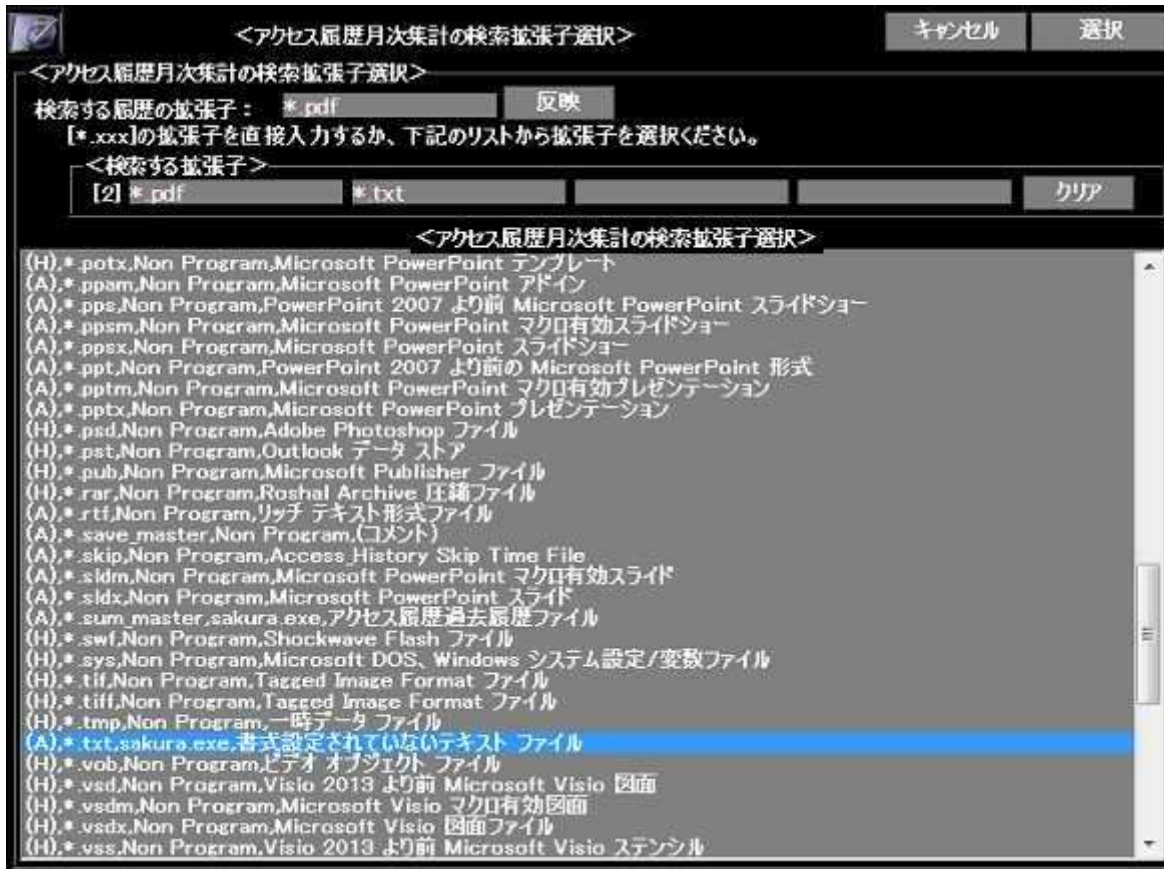
*1 フォルダ情報とファイル情報の境をクリックして左右に移動しますと表示サイズが拡大縮小します。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

2.3 アクセス履歴月次集計の検索拡張子の選択

「[履歴]アクセス履歴月次集計の拡張子検索」を選択しますと「アクセス履歴月次集計の検索拡張子の選択」メニューが表示されます。

アクセス履歴月次集計を検索する拡張子は4種類まで選択できます。
選択された拡張子で表示中のアクセス履歴月次集計を検索して表示します。



- ① 検索する履歴月次集計の拡張子
検索する拡張子を「*.xxx」で入力して「反映」をクリックしますと「検索する拡張子」に反映されます。
- ② 登録済の拡張子の選択
「アクセス履歴月次集計の検索拡張子選択」から登録された拡張子を選択しますと「検索する拡張子」に反映されます。
- ③ 検索する拡張子
「①検索する履歴の拡張子」と「②登録済の拡張子の選択」で選択された拡張子が表示されます。
- ④ 選択
「③検索する拡張子」に検索する拡張子が表示された状態で「選択」をクリックしますとメニューが閉じてアクセス履歴月次集計の検索を開始します。
表示中アクセス履歴月次集計から検索されたアクセス履歴月次集計を表示します。

<4章 アクセス履歴の月次集計>

3 DataGridViewの機能

DataGridViewについては、列タイトルの「項番」、「最終アクセス日時」、「アクセス履歴」、アクセス回数(更新、追加、削除、リネーム、合計)、「ステータス」、「フォルダ、ファイル情報」のクリックでソートします。「サイズ」、「備考」はクリックしてもソートができない設定です。
また、行の追加、項目の編集もできない設定です。
「アクセス履歴月次集計」の「メニュー」右クリックの「アクセス履歴月次集計の操作メニュー」から編集できます。

<アクセス履歴月次集計リスト>

/	アクション	項番	最終アクセス日時	アクセス履歴	更新	追加	削除	リネーム	合計	ステータス	フォルダ、ファイル情報
1	起動	1	2022/04/30 03:28:42	<Changed>	4	0	0	0	4	Active	C:\%bk_jpg_Walker_0100¥jpg_Walker¥bin¥Debug¥jpg_Walker_0100.exe
2	起動	2	2022/04/30 03:28:42	<Changed>	4	0	0	0	4	Active	C:\%bk_jpg_Walker_0100¥jpg_Walker¥obj¥Debug¥jpg_Walker.exe
3	起動	3	2022/04/27 09:50:16	<Changed>	1	0	0	0	1	Active	C:\%ACAB91~1¥ACCESS~1.ODT
4	起動	4	2022/04/30 12:04:13	<Changed>	6	0	0	0	6	Active	C:\%ACCESS~3¥ACCESS~1.ODT

① 全行選択

「/」をクリックしますと全行が選択状態になります。

② 行の選択

特定の行をクリックし移動すると複数行が選択状態になります。
「アクセス履歴月次集計メニュー」右クリックの操作メニューで操作します。

アクセス履歴月次集計の操作メニュー
[集計]選択されたアクセス履歴月次集計の削除 (Alt+1)
[集計]選択されたアクセス履歴月次集計の削除解除 (Alt+2)
[集計]Hold状態のアクセス履歴月次集計の削除 (Alt+3)
[集計]Hold状態のアクセス履歴月次集計の削除解除 (Alt+4)
[集計]削除されたアクセス履歴月次集計の抹消 (Alt+5)
[集計]削除されたアクセス履歴月次集計の解除 (Alt+6)
[集計]アクセス履歴月次集計の再読み込み (Alt+7)
[集計]ログの出力 (Alt+8)

「アクセス履歴月次集計操作メニュー」については「1.2 アクセス履歴月次集計ストの操作メニュー」を参照ください。

③ 「Delete」キー(使用不可)

特定の行の選択状態で「Delete」キーを打鍵しても行は抹消できません。

④ 「フォルダ・ファイル情報」列は境界線の拡大、縮小でサイズ変更が可能です。

他の列は拡大、縮小ができない設定です。

⑤ 「起動」

アクセス履歴月次集計の表示されたフォルダ・ファイルにアクセスします。
「フォルダ」が表示されたアクセス履歴月次集計の「起動」をクリックしますと「Windows エクスプローラー」で「フォルダ」にアクセスします。
「ファイル」が表示されたアクセス履歴の「起動」をクリックしますと「ファイル」の拡張子を使用して起動しますので拡張子をサポートしたアプリでファイルにアクセスできます。
「*.exe」「*.lnk」の拡張子については、パス指定で起動しますので、該当のアプリが起動されます。

⑥ Up(↑)、Down(↓)

DataGridViewの選択ラインがUp(↑)で上移動、Down(↓)で下移動します。

⑦ Ctrl+PageUp、Ctrl+PageDown

DataGridViewの選択ラインがCtrl+PageUpで上ページ移動、Ctrl+PageDownで下ページ移動します。

⑧ Ctrl+Up

DataGridViewの先頭行に移動します。

⑨ Ctrl+Down

DataGridViewの最終行に移動します。

以上

<5章 ショートカットについて>

1 アクセス履歴

<アクセス履歴の制御メニュー>

- ・[履歴] メニューのオープン・クローズ
- ・[履歴] アクセス履歴の左メニュー
- ・[履歴] アクセス履歴の右メニュー

<アクセス履歴の左メニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴の終了
- ・[履歴] アクセス履歴の再起動
- ・[履歴] アクセス履歴の表示
- ・[履歴] アクセス履歴の表示(過去)
- ・[履歴] アクセス履歴の検索
- ・[履歴] アクセス監視の停止・再開始
- ・[履歴] アクセス履歴のマージ
- ・[履歴] リソース状況の表示
- ・[履歴] アクセス履歴状況の表示
- ・[履歴] アクセス履歴月次集計の表示

<アクセス履歴の右メニュー>

- ・[履歴] オプション設定
- ・[履歴] 監視フォルダの追加・削除
- ・[履歴] 拡張子と起動アプリの設定
- ・[履歴] アクセス監視の抑止時間帯設定
- ・[履歴] ヘルプメニューの表示
- ・[履歴] ログの出力

ショートカット
[F1]

[Alr+1]

[Alr+2]

ショートカット

[Alr+T]

[Alr+R]

[Alr+3]

[Alr+4]

[Alr+5]

[Alr+Q]

[Alr+M]

[Alr+Z]

[Alr+Y]

[Alr+X]

ショートカット

[Shift+O]

[Shift+F]

[Shift+E]

[Shift+T]

[Shift+H]

[Shift+V]

2 簡易ファイラ型アクセス履歴

<簡易ファイラ履歴制御メニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴の左メニュー
- ・[履歴] アクセス履歴の右メニュー
- ・[履歴] アクセス履歴リストのオープン⇄クローズ
- ・[履歴] アクセス履歴のページメニューオープン
- ・[履歴] アクセス履歴の保存
- ・[履歴] アクセス履歴の終了

<アクセス履歴の左メニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴の表示
- ・[履歴] アクセス履歴の表示(過去)
- ・[履歴] アクセス履歴の検索
- ・[履歴] 保存したアクセス履歴の表示
- ・[履歴] リソース情報の表示

<アクセス履歴右メニュー>

- ・[履歴] チェック済アクセス履歴の削除
- ・[履歴] チェック済アクセス履歴の削除取消
- ・[履歴] ホールド状態のアクセス履歴を削除
- ・[履歴] 削除済アクセス履歴の破棄
- ・[履歴] アクセス履歴履歴のソートメニュー
- ・[履歴] 表示中アクセス履歴の全チェック
- ・[履歴] 表示中アクセス履歴の全チェック解除
- ・[履歴] アクセス履歴の再読み込み
- ・[履歴] ログの出力

<アクセス履歴リスト操作メニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴ページアップ
- ・[履歴] アクセス履歴ページダウン
- ・[履歴] アクセス履歴リスト選択
- ・[履歴] アクセス履歴リスト選択解除
- ・[履歴] アクセス履歴リスト上移動
- ・[履歴] アクセス履歴リスト下移動
- ・[履歴] アクセス履歴リスト実行

<アクセス履歴ページ操作メニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴ページアップ
- ・[履歴] アクセス履歴ページダウン
- ・[履歴] アクセス履歴5ページ前移動
- ・[履歴] アクセス履歴5ページ後移動
- ・[履歴] アクセス履歴ページ選択
- ・[履歴] アクセス履歴キャンセル

ショートカット

[Alr+1]

[Alr+2]

[Alr+L]

[Alr+P]

[Alr+U]

[Alr+T]

ショートカット

[Alr+3]

[Alr+4]

[Alr+5]

[Alr+6]

[Alt+Z]

ショートカット

[Shift+D]

[Shift+R]

[Shift+H]

[Shift+E]

[Shift+S]

[Shift+C]

[Shift+B]

[Shift+N]

[Shift+V]

ショートカット

[Alr+PageUp]

[Alr+PageDown]

[Alr+→(Right)]

[Alr+←(Left)]

[Alr+↑(Up)]

[Alr+↓(Down)]

[Alr+Enter]

ショートカット

[Alt+↑(Up)]

[Alt+↓(Down)]

[Alt+PageUp]

[Alt+PageDown]

[Alt+Enter]

[Alt+Delete]

5章 ショートカットについて

3 DataGridView 型アクセス履歴

<アクセス履歴View制御のメニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴の選択メニュー
- ・[履歴] アクセス履歴の操作メニュー
- ・[履歴] アクセス履歴のオープン・クローズ
- ・[履歴] アクセス履歴の保存
- ・[履歴] アクセス履歴のソートメニュー
- ・[履歴] アクセス履歴のフォーム最小化
- ・[履歴] アクセス履歴のフォーム最大
- ・[履歴] アクセス履歴の終了

ショートカット

- [Alt+1]
- [Alt+2]
- [Alt+L]
- [Alt+U]
- [Alt+S]
- [Alt+Q]
- [Alt+M]
- [Alt+T]

<アクセス履歴View選択メニュー>

- ・[履歴] アクセス履歴の表示
- ・[履歴] アクセス履歴の表示(過去)
- ・[履歴] アクセス履歴の検索
- ・[履歴] 保存したアクセス履歴の表示
- ・[履歴] リソース状況の表示

ショートカット

- [Alt+3]
- [Alt+4]
- [Alt+5]
- [Alt+6]
- [Alt+Z]

<アクセス履歴View操作メニュー>

- ・[履歴] 選択したアクセス履歴の削除
- ・[履歴] 選択したアクセス履歴の削除取消
- ・[履歴] ホールド状態アクセス履歴の削除
- ・[履歴] ホールド状態アクセス履歴の削除解除
- ・[履歴] 削除済アクセス履歴の抹消
- ・[履歴] 全アクセス履歴の選択
- ・[履歴] 全アクセス履歴の選択解除
- ・[履歴] アクセス履歴の再読み込み
- ・[履歴] ログの出力

ショートカット

- [Shift+D]
- [Shift+R]
- [Shift+H]
- [Shift+J]
- [Shift+E]
- [Shift+C]
- [Shift+B]
- [Shift+N]
- [Shift+V]

<DataGridViewメニュー>

- ・表示ラインの下移動
- ・表示ラインの上移動
- ・表示ラインの上ページ移動
- ・表示ラインの下ページ移動
- ・表示ラインの先頭行移動
- ・表示ラインの最終行移動

ショートカット

- [↑ (Up)]
- [↓ (Down)]
- [Ctrl+PageUp]
- [Ctrl+PageDown]
- [Ctrl+↑ (Up)]
- [Ctrl+↓ (Down)]

4 アクセス履歴の月次集計

<アクセス履歴月次集計Viewの制御メニュー>

- ・[集計] アクセス履歴月次集計の選択メニュー
- ・[集計] アクセス履歴月次集計の操作メニュー
- ・[集計] アクセス履歴月次集計のオープン・クローズ
- ・[集計] アクセス履歴月次集計の保存
- ・[集計] アクセス履歴月次集計のフォーム最小化
- ・[集計] アクセス履歴月次集計のフォーム最大-最小
- ・[集計] アクセス履歴月次集計の終了

ショートカット

- [Alt+1]
- [Alt+2]
- [Alt+L]
- [Alt+U]
- [Alt+Q]
- [Alt+M]
- [Alt+T]

<アクセス履歴月次集計Viewの選択メニュー>

- ・[集計] アクセス履歴月次集計の選択
- ・[集計] アクセス履歴月次集計のフォルダ検索
- ・[集計] アクセス履歴月次集計のファイル検索
- ・[集計] アクセス履歴月次集計の拡張子検索
- ・[集計] 表示中アクセス履歴月次集計の抹消
- ・[集計] リソース状況の表示

ショートカット

- [Alt+3]
- [Alt+4]
- [Alt+5]
- [Alt+6]
- [Alt+D]
- [Alt+Z]

<アクセス履歴月次集計View操作メニュー>

- ・[集計] 選択したアクセス履歴月次集計の削除
- ・[集計] 選択したアクセス履歴月次集計の削除解除
- ・[集計] ホールド状態アクセス履歴月次集計の削除
- ・[集計] ホールド状態アクセス履歴月次集計の削除解除
- ・[集計] 削除されたアクセス履歴月次集計の全て抹消
- ・[集計] 削除されたアクセス履歴月次集計の全て解除
- ・[集計] アクセス履歴月次集計を全選択
- ・[集計] アクセス履歴月次集計を全選択解除
- ・[集計] アクセス履歴月次集計の再読み込み
- ・[集計] ログの出力

ショートカット

- [Shift+D]
- [Shift+R]
- [Shift+H]
- [Shift+J]
- [Shift+E]
- [Shift+F]
- [Shift+C]
- [Shift+B]
- [Shift+N]
- [Shift+V]

<DataGridViewメニュー>

- ・表示ラインの下移動
- ・表示ラインの上移動
- ・表示ラインの上ページ移動
- ・表示ラインの下ページ移動
- ・表示ラインの先頭行移動
- ・表示ラインの最終行移動

ショートカット

- [↑ (Up)]
- [↓ (Down)]
- [Ctrl+PageUp]
- [Ctrl+PageDown]
- [Ctrl+↑ (Up)]
- [Ctrl+↓ (Down)]

以上